

TAIPEI

夏季号
2016
Vol. 04

台北



台北ユニバ、Coming Soon
スポーツ大好き「熊讚ブラボー」出動

自分の食べるものは自分で植える
世界に広がる都市農業ブーム



懐かしの味+流行の欧州風
台北ならではの幸せなパンの香り

台湾テニス界の新星 — 楊宗樺

台北ユニバの金メダルを誓う

本誌は以下の場所で無料で入手できます。

台北市政府観光傳播局／
台北市觀光傳播局

Department of Information and
Tourism, Taipei City Government
1999 内線 7564 台北市市府路 1 号 4 階

台湾桃園國際空港第一ターミナル
到着ロビーのインフォメーションカウン
ター

Tourist Service Center at Arrival Lobby,
Taiwan Taoyuan International Airport
(03)398-2194 桃園市大園区

台湾桃園國際空港第二ターミナル
出国ロビーのトラベルサービスセンター
Tourist Service Center at Arrival Lobby,
Taiwan Taoyuan International Airport
(03)398-3341 桃園市大園区

美國在臺協會／アメリカ在台湾協会
American Institute in Taiwan
(02)2162-2000
台北市信義路 3 段 134 巷 7 号

遠企購物中心／遠企ショッピングセンター
Taipei Metro the Mall
(02)2378-6666 内線 6580
台北市敦化南路 2 段 203 号

國語日報語文中心／國語日報語学センター
Mandarin Daily News (Language Center)
(02)2341-8821 台北市福州街 2 号

臺北市立美術館／台北市立美術館
Taipei Fine Arts Museum
(02)2595-7656
台北市中山北路 3 段 181 号

聖多福天主教堂／
セントクリストファーカトリック教会
St. Christopher Catholic Church
(02)2594-7914
台北市中山北路 3 段 51 号

士林區公所／士林區役所
Shilin District Office
(02)2882-6200 内線 8725
台北市中正路 439 号 8 階

臺北士林劍潭活動中心／
台北士林劍潭市民センター
Shilin Chientan Overseas Youth Activity
Center
(02)2885-2151 台北市中山北路 4 段 16 号

南港軟體工業園區／南港ソフトパーク
Nangang Software Park
(02)2655-3093 内線 124
台北市三重路 19-10 号 2 階

臺北美國學校／台北アメリカンスクール
Taipei American School
(02)2873-9900 台北市中山北路 6 段 800 号

國立中正紀念堂／国立中正記念堂
National Chiang Kai-shek Memorial Hall
(02)2343-1100 台北市中山南路 21 号

台北當代藝術館／MOCA Taipei
Museum of Contemporary Art Taipei
(02)2552-3720 台北市長安西路 39 号

市長官邸藝文沙龍／市長官邸アートサロン
Mayor's Residence Arts Salon
(02)2396-9398 台北市徐州路 46 号

臺北國際藝術村／台北国際芸術村
Taipei Artist Village
(02)3393-7377 台北市北平東路 7 号

台北二二八紀念館／台北二二八記念館
Taipei 228 Memorial Museum
(02)2389-7228 台北市凱達格蘭大道 3 号

交通部觀光局旅遊服務中心／
交通部觀光局トラベルサービスセンター
Travel Service Center, Tourism Bureau,
M.O.T.C
(02)2717-3737 台北市敦化北路 240 号

西門紅樓／紅樓シアター
The Red House
(02)2311-9380 台北市成都路 10 号

光點台北／光点台北
SPOT-Taipei Film House
(02)2778-2991 台北市中山北路 2 段 18 号

臺北市政府市民服務組／
台北市役所市民サービスカウンター
The public service group of Taipei City
Government
(02)2720-8889 / 1999 内線 1000
台北市市府路 1 号

北投溫泉博物館／北投温泉博物館
Beitou Hot Spring Museum
(02)2893-9981 台北市中山路 2 号

士林官邸／士林官邸
Shilin Official Residence
(02)2883-6340 台北市福林路 60 号

臺北市孔廟／台北市孔子廟
Taipei Confucius Temple
(02)2592-3924 台北市大龍街 275 号

松山文創園區／
松山文化クリエイティブパーク
Songsshan Cultural and Creative Park
(02)2765-1388 台北市光復南路 133 号

華山 1914 文化創意產業園區／
華山 1914 文化クリエイティブパーク
Huashan 1914 Creative Park
(02)2358-1914 台北市八德路 1 段 1 号

國立臺灣博物館／国立台湾博物館
National Taiwan Museum
(02)2382-2566 台北市襄陽路 2 号

10 座臺北市旅遊服務中心／
10ヶ所の台北市観光案内所
10 Visitor Information Centers in Taipei
(詳細 P. 64 参照)

MRT 各駅
All Stations of MRT Lines

伊是咖啡／IS コーヒー
Is Coffee

摩斯漢堡／モスバーガー
Mos Burger

亞典圖書公司／亜典書店
Art Land Book Co. Ltd.
(02)2784-5166 台北市仁愛路 3 段 122 号

誠品書店／誠品書店
eslite Bookstore

金石堂書店／金石堂書店
Kingstone Bookstore

清らかな水をすくい 青々とした大地を耕そう

暑い暑い夏の日には郊外の川べりで涼やかな水と戯れ、カエルの声を聞くのはどんなに愉快的ことでしょうか。

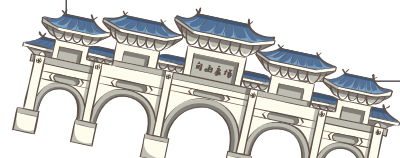
柯文哲市長が推進する「田園都市」とは、都心に田園を融合させることです。これは19世紀末に生まれた環境保全、持続可能な生態系という理念に基づいたコンセプトで、「食べられる景観」(edible landscape)をキャンパスから屋上、歩道にまで広げることによって、緑地をめぐる従来の発想や枠組みを飛び越え、コミュニティがそばにある遊休地を菜園として活用するのを後押しし、都会の暮らしになじみやすい農耕生活を呼び掛けます。

有名な英国のシェフ、ジェイミー・オリヴァーさんは、「これは失われた世代だ。人々は料理ができず、食べ物がどこから来たかも何がバランスのとれた食事かさえも分からなくなっている」と言っています。野菜が少しずつ大きくなっていくのを子供たちに見せ、大地が育むいのちのエネルギーに感動させることができれば、自然に対する知識や健康とは何かという教育も知らず知らずに始めることができます。「食べられるグリーンな小旅行」として、さわやかな野菜を持ってピクニックに行くのもいいかもしれません。この世界では健やかであることはいつもいちばん大事なことです。

都会の中的美食をお届けするコーナーでは、ただよう焼きたてのパンの香りを追いかけて、台北だけにある幸せなパンの味わいをともに探索しましょう。あんパン、ねぎパンなどの台湾風パンから、正統派の欧風パン、さらには東西の流行を取り入れた創作パンまで、呉宝春さんがパンの世界大会で優勝してからというもの、パンは台湾の人々が胸を張って誇りとするこだわりの食べ物となりました。台北はパンのパラダイスというだけでなく、パンの競技場でもあります。今号は美食家と旅の達人が、台北の街角のパン店を訪ね、台北人がパンに抱く特別な想いをお届けします。

かねて準備が進められている2017年の台北ユニバーシアードはあと400日足らずで開幕します。真剣に職務に取り組む「熊讚ブラボー」が任務のためあちこちに出没し、より多くの人に台北ユニバを知ってもらおうと、バスケやアーチェリー、バスケットボール、登山などのスポーツに挑戦しています。男子バレーボール競技では、長身でハンサムなアミ族の双子、劉鴻敏選手と劉鴻杰選手の劉兄弟が、息の合った絶妙のプレーで台湾代表チームのメンバーに選ばれました。これまで積み重ねてきたトレーニングでの苦勞に加え、試合では審判に見間違えられないようにしたいと語ってくれました。またテニスでは、世界4大会ジュニア部門のうち、全豪オープン(ダブルス)、全仏オープン(シングルス)、ウィンブルドン選手権(ダブルス)の3大会で優勝を果たしたと同時に、2015年の光州ユニバーシアードでは男子団体で銀メダル、男子シングルスで銅メダルを獲得した新星、楊宗樺選手が現在、全力で台北ユニバーシアードに向けてコンディションを整え、ホームグラウンドでより素晴らしい成績を残したいと奮闘しています。

日本の写真家、蜷川実花さんは、華麗で絢爛なスタイルで台北の人々をとりこにしました。花や桜、ポートレートから世界まで、蜷川さんの目にはまた違った台北という都市の魅力が映ります。そして蜷川さんの作品も台北により美しい風景を添えてくれました。蜷川さんのレンズがとらえる花はこれほどまでにあでやかです。夏の台北もまたむべなるかな。



目次



台北ユニバ特集

- 04 台北ユニバ、Coming Soon
スポーツ大好き
「熊讚ブラボー」出動
- 08 男子バレーに最強ツインズ現る！
鴻敏・鴻杰の劉兄弟が開く
台湾男子バレー黄金時代の扉
- 12 台湾テニス界の新星—楊宗樺
台北ユニバの金メダルを誓う

カバーストーリー

- 16 自分の食べるものは自分で植える
世界に広がる都市農業ブーム
- 20 「食べられる景観」づくりで
田園都市に
- 25 街に息づく緑の光
都市全体がわたしの菜園

台北の「今」

- 30 台湾にある
「グリーンの奇跡」台北 101
国際環境認証
「LEED v4」に挑戦
- 32 認可宿泊施設で
素晴らしい台北の旅を

台北を遊ぶ

- 34 台北でホテル観賞の
小さな旅を
- 38 最高にご機嫌なペナルティは
「乾杯！」
- 43 マーク・ルイスさんと第二の故郷
あるアメリカ人外交官の
台北ストーリー



38

都市美食探検

- 47 懐かしの味+流行の欧州風
**台北ならではの
幸せなパンの香り**
- 51 思い出の味も縁結びも
大稻埕を楽しもう
- 53 **あの頃、君と一緒に食べたパン**
- 55 **パンの新時代がやってきた**

芸術を楽しむ

- 57 写真家・蜷川実花
**新しさと伝統の間に
潜む台北の美**

TAIPEI 郵政劃撥(郵便振替)での定期購読について:6期
振替口座番号:16630048
振替口座名義:台北市観光伝播局

台湾国内	NT\$180 元	(普通郵便で発送)
香港、マカオ	NT\$540 元	(航空便で発送)
アジア太平洋地域	NT\$660 元	(航空便で発送)
ヨーロッパ、アメリカ、アフリカ地域	NT\$900 元	(航空便で発送)

TAIPEI

台北
夏季号 2016 Vol. 04



2017.8.19-8.30

発行人 簡余晏
編集長 謝佩君
副編集長 王宜燕
編集 司徒懿・鄭廷忠・李筱薇・林姿睿
整合行銷 莊淑媚・李炎欣
翻訳 津村葵・杉山悦子・平松靖史
デザイン・印刷 四點設計有限公司
Tel (02)2321-5942
Fax (02)2321-5944

台北市観光伝播局

住所 台北市市府路1号4階
Tel 1999 (台北市外からは 02-2720-8889)
内線 2029 または 7564
Fax (02)2720-5909
Email qa-juliast@mail.taipei.gov.tw
ISSN 24137774
GPN 2010402343

中華郵政台北雜字

第1377 號執照登記為雜誌交寄

本号定価 NT\$30 元

本誌に対するご意見、ご希望などがございましたら、是非、E-mail またはファックスにてご連絡ください。



オンライン雑誌:

<http://english.tpeidoit.gov.taipei>: Information > Reading Taipei > TAIPEI

台北市観光伝播局

書面による許可なく本誌の全部または一部を複製・複写することはできません。



本誌は大豆インクを採用しています。

台北ユニバ、Coming Soon

スポーツ大好き「熊讚ブラボー」 出動

文 — 謝瑩潔

写真 — 台北市観光伝播局

2017年の台北ユニバーシアードは、開幕まで残すところ500日を切りました。同大会をPRするという重責を担う「熊讚ブラボー」は、このイベントを多くの人に周知するだけでなく、さらに台北を好きになってもらうという任務を果たすべく奮闘しています。（熊讚は台湾語で「最高！」を意味する「尚讚」と同じ発音です。）



パルクールに アーチェリーに大忙し

4月6日、台北が全市を挙げて準備に取り組む2017年の台北ユニバ開幕までちょうど400日を迎えました。台北市観光伝播局は節目となるこの日に記者会見を開き、1964年の東京五輪で台湾の聖火ランナーを務めた邱坤輝さんを招聘して50年前に感じた栄誉や、事前訓練の秘訣、つらさを話してもらいました。

ところで、みなさんはツバメのように壁などを縦横無尽に駆けまわる新しいエクストリーム・スポーツ「パルクール」をご覧になったことがあるでしょうか？ 今回の記者会見では、パルクールチーム「A.D.D」が特別にパフォーマンスを披露。パフォーマンスが頭上を飛び越えたり、流れるように走ったり、回転したりする様子はパワフルでかつ、美しいものでした。これを見た

ブラボーは自分でもやってみたくなり、コーチから技の手ほどきを受けて格好だけながら存分に楽しんだようです。

また会場にはアーチェリーの熊梅茜選手、インラインスケート（スピード競技）の游虹選手、游本徹選手と、台湾代表候補3人が登場し、トレーニングの楽しさ、つらさ、来年の大会への意気込みなどを語ってく



れました。同じ姓の「熊一族」ということで親しみを覚えたのか、特に熊選手にフレンドリーな態度を示すブラボーは、彼女からアーチェリーの手ほどきを受けるや突然、太陽を射るポーズを取り、后羿（中国の神話に登場する弓の名手）のものまねを披露しました。

「カワイイ！」 小学校で交流

ブラボーは最近、台北市内の小学校にも「出没」しています。双蓮小学校の運動会では、出場選手

とともに勇ましくグラウンドを
行進したブラボーでしたが、一斉
体操になると、そのごちなくも
かわいらしい様子が子供たちの
大きな笑いを誘い、バラエティー
競技でも持ち前の親しみやすさ
を存分に発揮しました。またブラ
ボーはこの日、子供たちに台湾黒
熊（ツキノワグマ）に関する豆知
識を伝え、絶滅に瀕するこの動物
の保護に関心を持ってくれるよ
うしっかり呼び掛けました。

さらに児童節（子供の日）連休
の前日には、台北教育大学付属実

1. 熱戦が繰り広げられたHBLの会場で選手
たちに声援を送るブラボー。

験小学校に姿を現し、子供たちと
一緒になわとびや相撲に挑戦し
ました。相撲経験のないブラボー
は、全力を尽くしたものの相手を
押し出すことができなかったば
かりか、派手にひっくり返されて
しまい、場内に爆笑の音が響き渡
りました。最後にブラボーは3人
制バスケットボール（3オン3）
で子供たちと汗を流し、この日の
交流を心ゆくまで楽しみました。



熱い高校バスケット フリースロー大会に興奮

HBL（高等学校バスケットボールリーグ）と言えば、台湾の高校生バスケットボールプレイヤーが栄冠を賭けて熱い戦いを繰り広げる白熱の舞台です。台北アリーナ（台北小巨蛋）で開催されたHBL決勝戦には当然、にぎやかな場所が大好きなブラボーが応援に駆けつけました。試合中、会場全体から湧き上がる観客たちの歓声と熱気にブラボーは感激し通しだったようです。

会場内で白熱したゲームが展開される一方で、場外のイベント

ブースではフリースロー大会が開かれ、見事ゴールを決めた参加者にユニバーシアードの記念品が贈呈されました。2017年の台北ユニバでも、バスケットボールの試合は台北アリーナで行われます。ホームゲームとなる台湾代表を応援するため、多くの市民が会場に駆けつけることが期待されます。

ブラボー登山隊 ただいま出動

スポーツには種目ごとにそれぞれ違った楽しみがありますが、ツキノワグマであるブラボーにとって登山はもっとも得意とす

るところです。これから数カ月間、スポーツ普及の旅に出る予定で、台北市の「親山歩道」（登山口までのアクセスを容易にするため、最寄りのバス停やMRT駅から登山道までの間に設置された遊歩道）に突然姿を現すこともあるそうです。もし遊歩道でブラボーに出会った人は、一緒に記念写真を撮れば記念品がもらえます。これまでブラボーは竹子湖の溪畔歩道や虎山親山歩道に出没し、多くの市民と記念写真に収まっています。📍



2. 竹子湖・溪畔歩道に出没したブラボーが市民と一緒に記念撮影。
3. 小学校で子供たちと3オン3を楽しむブラボー。



ユニバーシアード豆知識—重量挙げ編

- ◎ 重量挙げの試合では「スナッチ」と「クリーン&ジャーク」の2種目が行われ、成績はその両方の合計ポイントによって競われます。
- ◎ スナッチとクリーン&ジャーク、それぞれ3回ずつ行われる試技ではバーベルを持ち上げた後、審判が成功か失敗を判定。成功の場合は白旗か白いランプ、失敗の場合は赤旗か赤いランプで判定されます。
- ◎ 選手は試技に成功するたびにバーベルの重さを1キログラム以上増量しなければならず、順位はスナッチ、クリーン&ジャーク、それぞれで成功させた最高重量の合計によって決まります。
- ◎ 成功させた重量の合計が同じ場合は、より体重の軽い選手が上位となり、体重が全く同じ場合は先に試技を成功させた者が上位となります。

ユニバーシアード関連情報のより詳しい情報については2017台北ユニバ公式サイト：sportcity.2017.taipeiをごらんください。



ぜひチェックしてください

熊讚ブラボー Facebook ページ：www.facebook.com/bravotaipei

男子バレーに最強ツインズ現る！ 鴻敏・鴻杰の劉兄弟が開く 台湾男子バレー黄金時代の扉

文 — 陳婉箏

写真 — 李庭欽、林嘉欣、JK 演芸娛樂



「ともに試合を戦うパートナーとなる前は互いが最も身近な家族で、親友だった」—台湾男子バレーボール界最強の双子と称される劉鴻敏、劉鴻杰の両選手は自分たちのFacebookページにこう記します。でも、意外なことにコート上で鋭いスパイクやブロックを決めるこの兄弟は、プライベートで語り合うことは少ないそうです。なぜなら互いのことが分かりすぎて、視線を交わすだけで相手が何を考えているかを理解できてしまうからです。

男子バレーボール台湾代表チームにとって2015年という1年は驚きの連続でした。アジアU-23バレーボール選手権で銅メダル、光州ユニバーシアードで4位、アジアバレーボール選手権で6位、そしてAVCアジアバレーボールクラブ選手権で台湾チーム初の優勝を果たすなど好成績が続き、国内にかつてないバレーボールブームを巻き起こしまし

た。選手たちへの関心も高まるようになり、特に劉鴻敏、劉鴻杰兄弟はプレーヤーとしての実力もさることながら、その長身と端正なマスクで多くの女性ファンを引き付け、試合後、いつも会場の外には一緒に写真を撮ったり、サインをもらおうと「出待ち」するファンの姿が見られるようになりました。

地獄の特訓で実力アップ

劉鴻敏選手の記憶によると、バレーボールを始めたきっかけは鶯歌小学校4年生のある日、教務課へ資料を届けに行き、偶然そこでバレー部のコーチに出くわしたことだったといえます。既に身長が160センチメートルに達していた彼を見たコーチはすぐにバレー部に勧誘し、1日体験して興味を覚えた鴻敏選手は弟の鴻杰選手と一緒に入部することを決めました。

先住民アミ族の血を引き、彫りの深い顔立ちと人を引き付ける目を持つこの双子は、体格から髪型まで瓜二つです。特に、鴻杰選手が携帯電話で見せてくれた子供の頃の写真は、ペアルック姿ということもあって自分たちですら見分けがつかないほどだそう、バレーボールを始めてからも、双子であるがゆえのトラブル



に見舞われました。中学生の時に参加した世界大会では、劉鴻敏選手がウイングスパイカー、鴻杰選手がミドルブロッカー（センタープレーヤーとも言われる）を務めましたが、二人の見分けがつかなかった審判は誤ってローテーションが正しく行われていないと指摘。コーチが「彼らは双子だ」と説明することでようやく誤解が解け、失点を取り消すことができたといえます。

高校生のころには、プロレベルの厳しいトレーニングに半年間参加しました。その間、毎朝5時に起きて練習に明け暮れ、週末にも

1. 高校生の時からプロレベルの厳しいトレーニングを受けてきた劉鴻敏選手は年齢に似合わぬテクニックと精神力を備えています。（写真/JK演芸娯楽）
2. 劉鴻敏（左）、劉鴻杰（右）兄弟の息の合った絶妙のプレーにより男子バレー台湾代表は昨年、かつてない好成績を残しました。（写真/林嘉欣）

自宅には帰らず、宿舍と練習場の間を往復する日々が続きました。鴻敏選手によると、当時のコーチから、バレーボールの代わりにバスケットボールを使って練習するよう指示されましたが、ボールが重いため、とても扱いにくい上、手が痛くなって夜も眠れな



いほどつらかったそうです。しかし、その後あらためてバレーボールで練習すると、手や指の力が強くなっていることを実感し、コーチの意図がようやく理解できたと鴻敏選手は振り返ります。鴻杰選手も、当時のコーチは厳しかったけれど、早い時期に自立することやチームプレーの大切さが理解でき、同年代の学生に比べて落ち着いた性格が身に付いたほか、周囲の人間を尊重することも学べ、自分に最も大きな影響を与えた人物だと語っています。

あうんの呼吸で 結果を積み上げる

双子ならではテレパシーを備

えている上、10年以上同じチームでプレーしてきた二人は、コート上で言葉を交わすことなくあうんの呼吸で高等学校バレーボールリーグ（HVL）、大学・専科学校バレーボールリーグ（UVL）で金メダルを獲得。さらに台湾代表にも選出され、ともにコートに立った昨年の光州ユニバーシアードでは、相次いで強敵を倒し、初戦から6連勝を続けて予選を突破しましたが、準決勝ではフルセットの末、ウクライナに逆転負けを喫しました。この試合について鴻敏、鴻杰両選手は「決勝戦が目の前まで来ていたのに、するりと手から逃げってしまった」と語っており、二人にとって今まで最もくやしい敗戦

3. チームでウイングスパイカーを務める劉鴻敏選手は多くのファンに会場へ来て台湾代表を応援してほしいと願っています。（写真／JK 演芸娯楽）

だったようです。鴻杰選手は敗因について「勝ちたいという気持ちが強すぎた」と分析します。予選の順調な戦いぶりにチーム全体が盛り上がったけれど、決勝トーナメントになるとメディアの注目がプレッシャーとなって浮足立ち、勝機を逃したと言うのです。

しかし、それまでユニバーシアードでの最高成績が14位だった男子バレー台湾代表にとって、昨年の大会で記録を大幅に塗り変えたことには違いなく、さらにその後に行われたAVCアジアバレーボールクラブ選手権でも予想を大きく上回る8戦全勝での優勝を成し遂げました。鴻敏選手は、「決勝のカタール戦ではチームが一丸となれたことと、それ以上に当日、会場の天母体育館に満員のファンが詰めかけて声援を送ってくれたことが選手の力となった」と話し、地元開催で優勝できたことの喜びを語っています。

全力で試合に臨み 勝負を楽しむ

ふだんは物静かな性格の双子の兄弟も、試合のことになると饒舌になります。ですが、「相手に最も言いたいことは？」と聞かれたとたん、二人は示し合わせたかのように黙り込み、「気持ち悪いから言いたくないよ。お互いに知っていればそれでいいじゃない」と口ごもります。しかしそれでも、ファンに二人のことをもっと知ってもらうためと鴻敏選手が重い口を開き、「一人でがんばっている他の選手に比べ、互いに支え合える僕たちは幸運です」と語ってくれました。

現在、台湾師範大学に学ぶ二人は2017年の台北ユニバーシアードで再度、台湾代表としてコートに立ちます。現時点で具体的な目標は設定していませんが、一試合一試合に全力で臨み、勝負を楽しみたいと考えています。光州ユニバの韓国戦でアウェイの洗礼を受けた二人は、台北大会では男子

バレー台湾代表チームがホームゲームの強みを最大限に発揮できるよう、多くのファンに会場へ足を運んで声援を送ってほしいと願っています。①



男子バレーのツインズ

メモ

劉鴻敏（ウイングスパイカー）、劉鴻杰（ミドルブロッカー）

誕生日：11月10日 身長：190cm 体重：85kg

戦績：

- 2010、11年度HVL甲組（1部）優勝（華僑高校）
- 2012、13、14年度UVL優勝（台湾師範大学）
- 2015年アジアU-23バレーボール選手権 銅メダル（劉鴻敏選手は最優秀ウイングスパイカー賞を獲得）
- 2015年光州ユニバーシアード 第4位
- 2015年バレーボールアジア選手権 第6位
- 2015年AVCアジアバレーボールクラブ選手権 優勝（劉鴻敏選手は最優秀ウイングスパイカー賞を獲得）



（写真／李庭欽）

台湾テニス界の新星 楊宗樺

台北ユニバの 金メダルを誓う

文 _ 謝瑩潔
写真 _ 楊宗樺選手

9歳でテニスを始めた楊宗樺選手は早くからその非凡な才能を開花させ、10歳で早くも全国優勝、14歳から海外の大会に出場するようになりました。そして17歳となった2008年には世界4大大会ジュニア部門のうち、全豪オープン（ダブルス）、全仏オープン（シングルス）、ウィンブルドン選手権（ダブルス）の3大会で優勝を果たし、同年末、国際テニス連盟（ITF）のジュニア部門・ワールドチャンピオンに選出されました。

翌2009年にプロ転向を果たした楊選手の現在の世界ランクは男子シングルスが210位（最高164位）、男子ダブルスが230位（最高144位）となっています。なお2015年に韓国で開催された光州ユニバーシアードでは男子団体で銀メダル、男子シングルスで銅メダルを獲得。2017年の台北ユニバにも再び台湾代表として出



場する予定で、「台北に金メダルを残したい」と意気込みを示しています。

海外での転戦が心を鍛える

楊選手は「小胖（ぽっちゃり君）」の愛称で知られますが、身長178センチメートル、体重80キログラムと実際はまったく太っておらず、しかも感じのいい二枚目です。彼によると、幼い頃は少しぽっちゃりしていたことから友

達に「小胖」と呼ばれていて、ダイエットにと家族がお兄さんと一緒に夏休みのテニス合宿に参加させたそうです。お兄さんはその後、ラケットを握らなくなりましたが、楊選手はこれでテニスの面白さを知り、現在まで続けることとなりました。

楊選手は自らの夢を実現すべく、14歳の時からコーチとともに、または一人きりでラケットバッ

australian open

The Grand Slam of Asia-Pacific



2

グを背負い、世界を転戦するようになりました。同世代の若者に比べて早い時期に広い世界を知り、心身ともに厳しい試練に直面してきた彼は「早くして社会に出たことで精神的に大人になれ、環境への適応力も身についた」と語っています。

初めてフランス遠征に出かけた際、楊選手は「あっちに行けば家族は誰もいないし、どうすればいいのだろう」と不安になり、飛行機の中で泣いてしまったといいます。まだ年若く英語もうまく話せないため、外国人のコーチが迎えに来てくれたとはいえ心理

的なプレッシャーはかなり大きかったようで、その時に「英語をちゃんと勉強しよう。ずっとジェスチャーに頼るわけにはいかない」と決意したそうです。

1年のうちほぼ11カ月を試合のため海外で過ごす楊選手は、台湾の自宅に戻っても、休む間もなくまたすぐに海を渡るといった生活を続けています。そんな彼にとってこれまでで最も印象に残っているのは、試合のために訪れたブラジルでの出来事でした。深夜、宿泊先のホテルで寝ていると、大きな爆発音が響きわたったのです。その時のことを彼は「突

1-2. 楊宗樺選手は今年の全豪オープンで本戦出場を果たしました。小指の腱を断裂しながらテーブで固定して試合に臨んだ彼の強い精神力は周囲を驚かせました。

然、ボンッという音がして目が覚め、テロが起きたと思ってあわててパスポートを手に部屋の外へ飛び出しました。階下に降りると誰もが着の身着のままの姿で、騒然とした雰囲気包まれていました。後で知ったのですがガス爆発が起きたということで、危険はなかったものの、とても驚きました」と振り返ります。

また海外で戦う上で「歯」の問題も楊選手を苦しめてきまし



3. 「小胖」こと楊宗樺選手(右)と「A 鵬」こと謝政鵬選手(左)は息がピッタリ。「胖鵬ペア」は2017年の台北ユニバでも肩を並べて試合に臨みます。

た。これまで彼はタイで親知らずを抜き、ベトナムで歯の神経を抜くという経験をしています。いずれも痛みには耐えられなくなり、現地で治療を受ける事態になったそうです。タイでは良い病院が見つかったものの、治療後に請求書を見て飛び上がりました。親知らず1本を抜くのに1万台湾ドル以上もの費用がかかったのです。ベトナムでは病院の設備があまり整っていませんでしたが、幸い腕の良い歯科医が見つかり緊急措置が受けられ、無事、試合に出場することができました。海外ではあらゆるトラブルを自分の力で解決しなければならないため、楊選手はここでも「英語によるコミュニケーション力は絶対に必要」と強調します。

全豪オープン 初出場を果たす

楊宗樺選手は今年的全豪オー

ブン出場を賭けて行われたアジア・パシフィック・ワイルドカード・プレーオフで謝政鵬選手と組んでのダブルスで優勝。見事、本戦出場を果たしました。ジュニア時代にチャンピオンとなった場所に再び足を踏み入れた楊選手は「全豪のコートに立った時、8年前の栄光を思い出し、やってやるぞと気合が入りました」と語っており、感慨深いものがあったようです。

国際大会において選手はプレッシャーに打ち勝つ力が試されます。楊選手によると、どんな選手でも緊張するそうですが、いったんコートに立てば「次はどんな球を打つべきか、どんな攻め方をすべきか」と、自分のプレーに集中しなければなりません。「決して試合中に自分が緊張していることに気を取られてはいけません。自分より相手の方がもっと緊張しているかもしれないですしね。」

プロとしてのキャリアで初めて出場した全豪オープン本戦で思うような成績を残せなかった楊選手は試合後、「打ち急ぎすぎて相手に比べプレーに安定性を欠いた」と反省の弁を述べました。しかし実はその試合、彼は手の小指の腱を断裂する故障を負いながら無理を押し出しており、「あの時は小指に力が入らなかったので薬指と一緒にテープで巻いて固定しました。パートナーに申し訳なくて、何とか最後までプレーしようと必死でした」と振り返ります。その後、台湾へ戻った彼は台湾大学医学部付属病院で手術を受け、目下、順調に回復しており、しばらく休養すれば試合に復帰できる見通しです。

全豪オープンでは早々に敗退してしまいましたが、気配りの人、楊選手はタオルや記念キーホルダーを持ち帰り、フェイスブックを通じて抽選でファンにプレゼントし、ビッグイベントに参加できた喜びを分かち合いました。このことについて楊選手は「ネットユーザー

はいつも、熱いコメントで僕を支持してくれる。それが励みになっているんです」と語ります。

台北ユニバに向けて 万全の準備を

「小胖」楊宗樺選手と「A 鵬」のニックネームで親しまれる謝政鵬選手の「胖鵬ペア」は結成から既に長い期間が経っており、2017年の台北ユニバーシアードでも肩を並べて試合に臨む予定です。二人の関係について楊選手は「僕達に共通する長所は試合に負けても相手のせいにしないということ」と分析しています。

その上で「コンビを解消するダブルスペアは多いですが、それは試合に負けたことをパートナーのせいにすることで互いの心が離れたのだと思います。でも、どんな人間でも日によって調子が変わります。僕たちは互いを思いやる気持ちを持っているので長い間、気持よくペアを続けられているんです」と強調します。

楊選手は毎朝7時に起床して体力トレーニングを行います。「トレーニングコーチが付いているので怠ける隙はありません」とこぼしますが、「コーチに要求されることは全力でこなします。そうすることで最高のコンディションが保

てるのです」とその意義も十分に認識しています。また楊選手は明るく、図太い神経の持ち主ですが、長年のキャリアを通じて試合結果に対する気持ちの整理がうまくつけられるようになったのだといいます。思うようなプレーができなければ当然、くやしい気持ちになるものですが、2～3時間もすれば完全に平静を取り戻せるそうです。

「一年中、試合をするのですから、いつも勝てるわけではありません。負けた時にはなぜ負けたのかを考え、改善に努めます」—そう語る楊選手はテニスの最大の魅力を、丸いボールのように勝敗がどちらに転ぶか分からないところにあると考えます。「世界ランク50位に入る選手が200～300位の選手に負けることもあります。だからどんな相手に当たった場合も決して気を抜くことなく試合に臨まなければなりません」と気を引き締めるのです。

2017年のユニバーシアードに向け、楊選手は過密スケジュールの中、実戦をトレーニングに代えることが最良の準備になると認識しており、「試合の中でトレーニングの目標を達成したいと考えるため、A 鵬と一緒に自分たちの課題が克服できるような大会に数多く出場しています」と語ります。5月

以降も、国内で開催される「華国三太子杯国際男子テニスチャレンジャー大会（ATP チャレンジャーツアー）」、ウズベキスタンのカルシで開催される「ウズベキスタン・F1・フューチャーズ」、フランス・ニースで開催されるニース・オープン（ATP ワールドツアー）と、連戦が待ち受けています。

「テニスは人生で最も大切なもので、一生の付き合いになる」—そう語る楊選手の生活はこの競技を中心に回っており、喜び、悲しみ、成功、そして挫折。すべてにテニスに関わっています。そんな彼は、「最高の栄光を勝ち取ったジュニア時代から一転してプロ転向後は浮き沈みを経験し、心に色々と思うところはありますが、いつかグランドスラムでベスト8、さらにはベスト4に入り世界に実力を示すことが夢です」と抱負を語ります。

来る2017年ユニバーシアードに向けて台北市政府は、選手のトレーニングなど各方面におけるサポートに全力を挙げています。楊選手はこれに感謝の意を表した上で「台北はふるさとです。ふるさとで開かれる大会で必ず良い成績を挙げ、台北に金メダルを残したいと思います」と決意を新たにしています。①

🔗 ロハス台北 🔗
世界水準の田園都市を目指す

自分の食べるものは自分で植える 世界に広がる都市農業ブーム

文 — 陳婉菁

写真 — インクレディブル・エディブル・トッドモー
ン・地域開発チーム、Eigenes Werk、ロイター、
エナジーグローブ・ファウンデーション (EGF)

(写真/Shutterstock)

アインシュタインはかつて「ミツバチが地上から姿を消せば、人類は4年で滅ぶだろう」と言ったそうですが、多くの野菜と果物はミツバチが受粉を媒介することで命をつなげることが可能となっています。このため、ミツバチが絶滅すれば人類にも災難がもたらされると考えられ、多くの都市でミツバチを保護しようとする動きが活発化しています。

東京・銀座のビル、パリの国民議会議事堂、ベルリン大聖堂の屋上でミツバチが飼育されるようになってきているほか、ノルウェーの首都、オスロにはミツバチが十分な食料を確保できるよう250メートルおきに道路脇の住宅の屋上やベランダに植木が置かれた世界初の「ミツバチロード」が作られました。

米国ではミツバチの群れの急激な減少に直面し、3,400万米ドルを投じる保護政策を打ち出しています。ミシェル・オバマ大統領夫人はホワイトハウスに住むようになった2009年に養蜂を始めた上、並行して有機野菜や果物も栽培しています。また日本の安倍首相の昭恵夫人もホワイトハウス訪問をきっかけとして総理大臣官邸にミツバチの巣箱を設置、「都会の養蜂家」となりました。

農業への関心が世界的に高まる中、柯文哲台北市長は就任以降、田園都市政策を強力に推し進めています。2015年には空き地など使用していない市内の土地を「田園基地」として市民団体に提供し、ともに「食べられる景観」(edible landscape)づくりに取り組む「田園都市地域農園推進センター」を開設しました。これは農

園を通じて自然豊かで健康的な田園都市を築き上げ、都市の姿を一変させようという革新的な試みなのです。

市の各部署が1年以上にわたり積極的に取り組んだ結果、現在、市民が利用できる「田園基地」19カ所が登録されているほか、学校内の小規模農園、市民農園、公共施設の屋上など270カ所が活用されています。

ニューヨーク、ロンドン、ベルリン、東京、ソウルなどでもコンクリート・ジャングルの中で農具を手にする市民の姿を見ることができるよう、都市において環境と食の持続可能性の実現を目指すことは世界的なトレンドとなっています。台北市でも他の都市を参考としつつ、独自の都市農業モデルを生み出す努力を続けています。



1

🇬🇧 ロンドン—都市農業 でイメチェンに成功

「都市農業」という考え方が生まれたのは、1898年に出版された英国の社会改良家、エベネザー・ハワードによる『明日の田園都市』（Garden City of Tomorrow）という書物までさかのぼります。この書物は都市と農村の長所を結びつけた理想郷の形成を提案するものでした。その後、一世紀の時を経てロンドンでは2009年より、3年後の五輪開催に向けた都市緑化プロジェクト「キャピタルグロース計画」をスタートさせ、まずその先駆的な理念を市民に周知することから着手しました。

そしてロンドン市政府は「手をどろんこにしよう」（Get your hands dirty）をスローガンに、市民に植物の栽培を奨励。5平方メートル以上の土地を持ち、かつ5人以上のメンバーを集めれば「コミュニティ

農園」を設立するための資金申請を可能にしました。同プロジェクトは五輪閉幕後も引き続き推進され、現在では2,500カ所のコミュニティ農園が作られています。長い間荒れたまま放置されていたロンドン地下鉄の地下道も温室に姿を変え、有機野菜の栽培に利用されています。それだけでなく、このプロジェクトは「じめじめと冷たい金融都市」という従来のロンドンのイメージを一変させました。

また、イングランド地方北部の「タダで食べられる町」と呼ばれるトッドモーデンでは、2008年からコミュニティ内での野菜栽培を奨励していますが、さらに空き地で栽培される野菜や果物を、誰でも無料で取って食べることができる「グリーンルート」を整備しました。この試みは景観を改善しただけでなく、衰退した地方の小さな町を英国でも有数の自給自足の町へ、さらにベジタリ

1. イングランド北部の「タダで食べられる町」、トッドモーデン。（写真/インクレディブル・エディブル・トッドモーデン・地域開発チーム）

アン観光客の絶えないにぎやかな町へと変えたのです。

🇩🇪 ベルリン—都市の 中のオアシス

欧州で最も都市農業が盛んな国として真っ先にその名が挙がるドイツでは、1919年の時点で既に「市民農園法」が制定されており、第2次世界大戦時には空襲にあったドイツ人が市民農園によって飢えをしのいだそうです。しかし現在、同農園は主に農園体験やレジャー目的で利用されており、そのドイツの経験を参考に台北市は1990年、第1号の市民農園を北投区に設置、これが台湾における都市農業のさきがけとなりました。

ベルリンの壁が崩壊した後、その周辺は広大な廃墟と化していましたが、2009年夏に非営利組織（NPO）「ノマディック・グリーン」が荒地を都市農場「王女の庭（Prinzessinnengarten）」に変える一大プロジェクトを開始しました。このスペースで誰でも植物を育てることができるようにしたところ、多くの市民からプロジェクトへの協力が得られ、現在では毎年約500

種類の野菜と果物が収穫できるようになり、まるで都市の中のオアシスのような存在に生まれ変わっています。

「王女の庭」の中には菜園の以外にもフリーマーケットや養蜂教室、アクティビティセンターなどが設置されているほか、当然、レストランもあり、そこで提供されるサラダやハーブティーは全てこの「庭」で採れた食材が使用されています。

ニューヨークー 世界最大の屋上農園

地価が非常に高いことで知られる世界の都、ニューヨークでも、人口最多のブルックリン区に世界最大規模の屋上農園「ブルックリン・グランジ」は存在します。2010年、数人の若者が築100年を超える古い倉庫の屋上で作物を育てようという奇抜なアイデアを思いつきました。彼らはペン

シルベニア州から持ち込んだ土と、廃棄された木材と生ごみを回収して作った有機堆肥を使って有機野菜を栽培。さらに2012年には2カ所目の屋上農園を開発し、合わせて2.5エーカーの「農地」で毎年5万ポンド以上の有機野菜を収穫しています。

またブルックリン・グランジには野菜畑だけでなく養蜂場と養鶏場も併設されており、複合農業方式による生態系バランスの調和を目指しています。なお農園では約40種類の農作物を栽培すると同時に観光客に見学を開放するなど多彩なサービスを提供しています。さらに、彼らの試みに影響を受けたニューヨーカーが屋上や空き地、学校のキャンパス、公園などで次々と作物を育てるようになっており、摩天楼のそびえ立つ大都市に700カ所以上の都市農場が出現し、異彩を放っています。

東京・銀座—養蜂が ビジネスチャンスに

屋上で野菜栽培や養蜂は欧米諸国だけの流行ではなく、アジアの国々でも地球市民としての責務を果たそうとする動きが出てきています。日本のNPO「銀座ミツバチプロジェクト」は2006年、アジアで最も土地の値段が高いとされる東京・銀座のビル屋上で養蜂を行うことを発案しました。その背景には、ミツバチが蜜を集めるのに適した日比谷公園や皇居が近くに存在するという立地条件がありました。

現在、同プロジェクトで毎年大量に収穫される蜂蜜は、周辺商店のアイデアを基に収穫シーズン限定の人気商品へと姿を変え、銀座の町に新たなビジネスチャンスをもたらしています。さらに、共通の話題ができたこ





4



5

とで地域の絆も深まったほか、ミツバチがせっせと働くことで周辺の植物の受粉が促され、樹木が長らくぶりに実を結び、これにより鳥や虫たちが集まるようになるなど自然も豊かになったそうです。

また人材派遣会社のパソナは、屋上での野菜栽培や養蜂に加え、不可能と思われたアイデアオフィス内での農園運営を実現させました。この「アーバンファーム」と呼ばれる農園は東京にあ

るグループ本部ビル内に設置されており、3,995 平方メートルを利用して米、トマト、ナス、ピーマンなど 200 種類を超える作物が栽培されています。ちなみに、これらの作物は全て、社員食堂で食材として使われているそうです。同ビルではエレベーター前のロビー、廊下、応接室、レストランなどあらゆるエリアに野菜や果物、草花の姿を目にすることができ、人と自然の共存という理念を現実のものとした最良のモデルケースと言えるでしょう。



ソウル—漢江の中洲を都市農園に

韓国・ソウルでも近年、市政府と非政府組織（NGO）「ソウル・グリーン・トラスト」の取り組みにより都市緑化の面で大きな成果が挙がっています。2015 年、ソウル市は「ソウル都市農業 2.0」政策を発表し、市民が歩いて 10 分以内で農業体験を行えるようにと、2018 年までに市内の農地面積を約 5 倍に当たる 420 ヘクタールまで増やすことを目標に設定しました。

同政策の象徴的な存在となったのが漢江の中洲、ノドウル島のケースです。当初、この島にはオペラハウスが建設される予定でしたが、後に都市農園の開発に変更され、畑のほかに野菜を販売する即売センター、ドーム型のネットハウス、養蜂エリア、堆肥エリア、温室、種子貯蔵スペースなどが設けられ、市民の農業への参画を促しています。①



2. トッドモーデンでは 2008 年に地域内で野菜の栽培を開始し、誰でも無料で作物を採取できる「グリーンルート」を設定しました。（写真／インクレディブル・エディブル・トッドモーデン・地域開発チーム）
3. ソウル市は 2018 年までに農地面積を約 5 倍にすることを目標としています。（写真／エナジーグループ・ファウンデーション）
4. ブルックリン・グランジをきっかけにニューヨークの都市農園は 700 か所以上に増えました。（写真／ライター）
5. 日本の人材派遣会社、パソナはオフィス内に農園を導入することに成功しました。（写真／ライター）

🔗 🍴
ロハス台北
世界水準の田園都市を目指す

「食べられる景観」づくりで田園都市に

文 — 杜韻如

写真 — 建国高校、辛亥小学校、育航幼稚園、台北市産業發展局、台北市農会



て農作物の栽培を学ぶことができる上、給食の献立に副菜に自らの手で育て上げ、収穫した食材を使った一品を加えることもできます。生徒たちは食材の新鮮さ、おいしさだけでなく、達成感や満足感も味わうことになります。

ケース1：建国高校

建国高校における小田園計画は、1年生の家政科と2年生の特別カリキュラム「持続可能な食卓」の一環として行われ、台湾の食事情と農業問題に関する議論を深める内容となっています。家政科教師の指導の下、生徒たちは生態工学的手法を用い、枕木を利用した水田や水をやらなくても自律的に野菜が育つプランター、土を入れて野菜や果物の苗を植えたペットボトルを一面に並べた「生態ウォール」を自分たちで制作。環境にやさしい農法で作物を栽培していま

人口が密集した都市部で自然と緑にあふれた田園生活を送る、そんなことが可能だと思いますか？実は、我々の暮らしの範囲内でも、自宅の庭、ベランダ、屋上、路地の片隅、空き家、駐車場、歩道の脇、中央分離帯、公園、学校など上手く活用すれば「食べられる景観」(edible landscape)を作ることができるのです。

台北市が全力を挙げて取り組む田園都市化政策は、公共スペースで野菜や果物を栽培するというもので、これにより都市の緑化

が実現できるほか、地域住民が共同で農作業に取り組み、互いに交流を深めることも可能にします。さらに未来を担う世代に自然環境や、大地と食の関係を学んでもらう上で最適な教育の場ともなります。

「小田園計画」—農作業をカリキュラムに

台北市教育局が推進する「小田園計画」は、学校の空きスペースを利用して菜園を設置するというもので、生徒たちは実際に種蒔きから収穫までの経験を通じ

1. 建国高校では家政科の教師の指導の下、環境にやさしい農法として枕木を使った水田を自らの手で作っています。(写真／建国高校)
2. 辛亥小学校の「開心農場」で栽培される野菜はとても種類が豊富です。(写真／辛亥小学校)
3. 収穫した作物を手にする育航幼稚園の小さなお百姓さんたち。体験を通じて食べもの大切さを学びます。(写真／育航幼稚園)



す。作物を育てる過程で、生徒たちは稲穂がスズメに食べ尽くされたり、水田の中で飼っていたカダヤシ（ボウフラを捕食する魚）が寒さで死んでしまったり、野菜の苗が一晩のうちにカタツムリに全てかじられたりといった経験をすることで農家の方々の苦労を身にしみて感じることができるようになっています。



生徒たちはまた、フェイスブック上にコミュニティページを開設し、自分たちの活動を記録した動画をアップロードしたり、農家による農産品即売チャリティーイベントに対する支援を表明したり、環境にやさしい「苗栽培ボトル」の作成方法を掲載したりしているほか、小学生向け食育キャンプを開催するなど、より多くの人に食糧問題に関心をもってもらおうと積極的に行動しています。

ケース2：辛亥小学校

辛亥小学校では2012年より、児童が「田園の楽しみ」を体験できるよう、1年生担当の何秋菫教諭主導の下、生活科の授業の一環として野菜の栽培を行っています。

辛亥小学校が作った「開心農場」は規模こそ小さいものの、栽培される野菜の種類はとても豊富です。ここで堆肥として使われる落ち葉は雑草が増えるのを防

いだり、腐熟して養分となったりと、30種類以上の作物の成長を助けています。こういった作物は自分たちで食べるほか、販売もしており、その収入は図書購入費に充てられます。

また、校内の中庭にある傾斜地を利用して作った「ハーブの森」では、同校のある台北市文山区の雨の多い気候に適したハーブが栽培されています。さらに中庭に

台北市の公共施設屋上に設置されたモデル菜園 (12カ所)

- 🍎 文山区老人自費安養センター
- 🍎 台北市恒愛発展センター
- 🍎 内湖区湖興区民活動センター
- 🍎 士林区仰徳区民活動センター
- 🍎 松山区民生社区活動センター
- 🍎 中正区客家文化主題公園客庄生活館
- 🍎 北投区行政センター
- 🍎 信義区行政センター
- 🍎 大同区行政センター
- 🍎 南港区行政センター
- 🍎 大安区行政センター
- 🍎 萬華区行政センター



はたくさんの種類の果樹も植えられています。その中には児童が自らの手で接ぎ木や挿し木をしたものや、小田園計画の予算で購入したものが含まれます。

ケース3：育航幼稚園

幼児たちに自分と自然環境の関係に関心を持ってもらいたいと考える育航幼稚園では、先生の指導の下、可愛らしい小さなお百姓さんたちが園内の「緑の廊下」やハーブエリア、野菜エリアで植物を育てる楽しさを学んでいます。毎週金曜に行われる小田園プログラムでは、幼稚園の園児たちがコミュニティの公園まで散歩し、ボランティアや栽培の専門家を訪ね、環境に対する感覚やセンスを養います。

屋上菜園で 農家になる夢を実現

都市に住む人々の間で「自分で食べる野菜を自分で育ててみたい」という夢を抱く人が増えていますが、実はこの夢、リタイアするまで待って田舎へ移り住むことなどせずとも実現可能です。

マンションの屋上にちょっと目を向ければ、そこには洗濯物を干す以外、ほとんどの時間、まったく利用されていないスペースが存在します。ここに住民共有の屋上菜園を作れば、各家庭で出る生ごみを堆肥として、二酸化炭素を抑えて環境に優しく、かつ健康な野菜が栽培でき、しかも住民間の親睦も図れるなど良いこと尽くしです。

「田園都市」という理想に向けた取り組みのため、台北市産業発展局は昨年より、市内の公共施設12カ所の屋上にモデル菜園を相次いで設置。うち10カ所は近隣住民に開放し、残り2カ所は園芸療法への活用を目的として社会福祉団体に提供されています。今年は屋上のほか、空き地を利用した公共菜園をさらに24カ所増やし、市民に提供する計画です。

ケース1：文山区老人自費安養センター

有料老人ホーム、文山区老人自費安養センターの菜園では、高齢者が長時間腰をかがめて作業するときの負担を軽減するため、一定の高さを取ったプランター設備を採用。また、安価で移動の容



4. 自作の木製プランターが北投区行政センターの菜園に温もりを加えています。(写真/台北市産業發展局)
5. 台北市には現在、17カ所の市民農園が設置されています。みなさんも一緒に都会の中の農家になってみませんか。(写真/台北市農会)

易な不織布製の「植木袋」を使って多くの種類のハーブや豆類を育てており、高齢者が気軽に作物の栽培を楽しめるようになっています。

ケース2：士林区徳行里のモデル菜園

「パーマカルチャー」(持続可能な農業)の概念を基に、流動的な

ラインといくつもの階層を持つプランター配置で菜園をデザイン。生物の多様性を高めるとともに堆肥ボックスや植物棚、コミュニティ活動用のスペースも設けています。また環境に配慮し、有機栽培が行われています。

ケース3：北投区行政センター

ボランティアたちが「ドゥー・イット・ユアセルフ (DIY)」精神を発揮し、木を使って一部プランターを自分たちで手作りしているため、菜園全体に温もりが感じられます。木製のプランターは見た目も美しいほか、将来的な維持・管理を考えて底にマットが敷いてあり、水がしみ出て屋上の防水層を痛めない工夫が凝らされています。

台北市の市民農園 (17カ所)

- 🌱 北投区：北投第一市民農園、北投第五市民農園
- 🌱 士林区：日月満市民農園、至善明哲園市民農園、風動草市民農園、士林第八市民農園、清涼地有機市民農園、一方市民農園、梅居市民農園、永福健康市民農園
- 🌱 内湖区：内湖第二市民農園
- 🌱 松山区：松山第一市民農園
- 🌱 南港区：大安第一市民農園
- 🌱 文山区：木柵第一市民農園、木柵第二市民農園、溪水旁休閒市民農園、樟湖自然市民農園

詳しくは「台北市市民農園」のサイト (www.tfa-cfarm.org.tw) をご覧ください。



市民農園と田園基地で 農作業の喜びを体験

台北市各区の農会（農協）が管理する「市民農園」は、市民が自ら作物を育てることができるよう、農家が農地を提供するというもので、その考え方は「農耕公園」に近いものがあります。市民は家族を連れてここで体を動かし、農作業を体験します。忙しくて普段は来られなくても、農園の管理者が代わりに世話をしてくれるので心配はありません。このような市民農園は農業とレジャー、教育といった機能を兼ね備えた施設と言えるでしょう。

文山区の木柵・猫空地区にある「樟湖自然市民農園」園長の張さんは、農業への愛が高じ、市民にもその喜びを分かち合いたいと考えて農地を提供しています。それだけでなく、社区大学（コミュニティ・カレッジ）と共同で「自分で食べる野菜を自分で植える」カリキュラムを開講し、自分の体を動かして作物を育てる楽しさを市民に伝えています。

また、田園都市計画では市内の空き地を現在の利用状況を阻害しない範囲で「田園基地」とし

て市民に開放し、緑化や「食べられる景観」の形成に活用しています。こういった空き地を利用することで都市全体を一つの農場とし、市民に自分の手で野菜や果物を栽培する楽しさを知り、農業の大切さを深く理解してもらうことが可能となっています。

学校や公園、地上や屋上で苗を植えて収穫する一田園都市計画を通じてさまざまな場所に「食べられる景観」が生まれることで私たちと自然の間にあらた

めて身近で強いきずなが結ばれています。さあ腕まくりをして、一緒に都市の中の農家になりましょう！ 📍



ポータル「田園銀行」(farmcity. taipei)

ウェブ上に設けられたポータル「田園銀行」は、田園基地や市民農園に関する資料、都市農園の設立・運営支援資料、農作物栽培教室に関する情報とオンライン講座、成果の公開、農園利用申請に関する資料など田園都市推進計画についてのあらゆる情報が集められたサイトです。



街に息づく緑の光 都市全体がわたしの菜園

文 — 鍾文萍

写真 — 楊智仁、台北市工務局公園街灯工事管理処、台北市立陽明教養院



今、農業がどれほど熱い注目を集めているかご存知でしょうか。投資家として有名なジム・ロジャーズ氏なら「金をもうけたい？それならすぐ農家になれ」と言うでしょう。しかし、土地がとんでもなく高い都市でこれを実現するのは容易なことではありません。ただ、それでも多くの人が家の屋上やベランダ、地域の空き地を利用して野菜を育てているのは、決して金銭的な富を追い求めることが理由ではなく、心身を満ちし、地域、さらには都市全体を美しい緑で彩りたいと考えるからです。

1. 台北市では多くの市民がコミュニティ内の空き地を利用して野菜を栽培し、心と体を満足させています。(写真/楊智仁)

コミュニティ農園 ご近所とともに喜びを

今年4月、松山区鵬程里のコミュニティ農園「快樂農園」で作物の収穫が行われ、新鮮な野菜を住民で味わう成果発表会が開かれました。集まった鵬程里の住民たちは収穫された食材を使った菜食料理が並ぶテーブルを囲み、作物を育て、収穫する喜びを心から堪能しました。まさに台北市が推進する田園都市計画のすばらしい成果と言えるでしょう。住民たちにとって農作業は、生活の中の欠かせない一部分となったのです。

台北市工務局公園街灯工事管理処の黃立遠所長は田園都市計画について、主に使われていない空き地や公共施設の屋上を利用

して推進するもので、産業發展局が設置した屋上菜園（12カ所）、教育局が進める「小田園計画」（239カ所）、公園処の田園モデル基地（6カ所）、市立聯合醫院の田園基地（5カ所）などでの取り組みが行われていると説明します。現在、作付面積は累計で7万7,846平方メートル、農作業に従事した市民は延べ2万2,590人に上ります。また同計画では従来の自治体からのトップダウン方式ではなく、市民の提案を吸い上げるボトムアップ方式へと段階的に移行しており、誰もが家庭や会社、居住する地域に小さな農園を持つことができるようになりつつあります。

鵬程里の快樂農園は、もともと駐車場にする予定だった用地

を市の政策に応じて農園としたもので、昨年7月に地域住民が集まってみんなでアイデアを出し合い、理想的な菜園を作り上げました。許顔建・鵬程里長は「小さな農園に過ぎないけれど、不思議なことに住民の生活に前向きな影響を与えてくれた」と語ります。

住民たちは熱意を持って農園での作業に取り組み、地域の子供たちも作物を育てる中で植物が成長していく過程を学んでいます。また農園ができたおかげで地域に憩いの場所が一つ増えたほか、有機栽培を取り入れる同園では子供たちがボランティアスタッフとともに苗を植え、堆肥を施し、害虫駆除などの作業を行っており、いかなる農薬





2. 鵬程里の快樂農園は松山区初の住民参加型田園基地です。(写真/台北市工務局公園街灯工事管理处)
3. 陽明教養院の入居者は園芸に強い興味を示しています。(写真/台北市立陽明教養院)

も使用せずに作物を育てることで持続可能な自然環境の大切さを理解するようになっていきます。この農園ではチョウは飛び交うけれど、害虫の姿を目にすることはありません。

「それは住民たちが細やかな心配りで作物を育てている結果です。夜になると見たいテレビも見ずに懐中電灯を片手に害虫駆除に精を出しているのですから」一許里長は松山区で最初の住民参加による田園基地の成功例となった快樂農園はすべての住民にとって誇りだと胸を張ります。

心と体を癒す屋上農園

市街地を抜けて陽明山までやって来たところにある、台北市で唯一の公立知的障害者福祉施設、陽明教養院永福院区（永福の

家）にも、見る人を驚かせるような屋上農園があります。ここは敷地が狭く、入居者の生活の場は日ごろから屋内に限定されがちで、屋外に出て自然に触れる機会が少なかったことから、施設側は欧州各国で広く取り入れられている看護と農作業を結びつけた新しい手法、「グリーンケア」を参考に、専門家の指導の下、園芸活動を導入することを決めました。福祉施設ビルの6階屋上に葉野菜、ハーブ、果樹などのエリアに分かれた屋上農園が開設され、150人の入居者のレクリエーション活動や植物観賞の場として活用されています。

ここに入居する者の大部分は車いすを使用しているため、屋上へ向かう通路はバリアフリーとなっているほか、農園内でもプラ

ンター高さや通り道の幅に車いすに合わせた配慮が施されています。また入居者は過度に複雑な作業や体に負担の大きい作業が難しいため、スプリンクラーによる自動散水システムが導入されているほか、肥料やりにもスマート設計が採用されています。これにより入居者は、煩雑な作業をこなさなくても緑豊かな生活を楽しむことができるのです。

この屋上農園が開設されてから約半年が経過していますが、ソーシャルワーカーの鄭心怡さんによると、運動が嫌いだった一部の入居者が園芸に強い興味を示したり、自分では植物の世話をすることはできないけれど、緑あふれる環境の中でストレスを解消する入居者の姿が見受けられるそうです。



菜園で作業することで入居者は「介護される側」から「生産する側」へと変わり、五感を使った体験が増え、自信が持てるようになるほか、身体の使い方もよくなるなど、そのメリットは大きいと鄭さんは強調します。ソーシャルワーカー、ボランティア、入居者の家族ともその効果に期待を寄せる屋上農園で栽培された作物は現在、永福の家の調理室で最も歓迎される健康食材となっています。鄭さんは「みんな、この『予想外の収穫』に喜んでいます」と笑い、「自分で食べたい野菜を自分の手で植える。これほど自然で心身の健康に役に立つことはありません」と語ります。

路地裏で販売される 宝物のような野菜

多くの人でにぎわう忠孝東路4段を歩いていると、市民が路地裏で自主的に開催している農産物の

マーケットに出くわします。出ているのは10~20店程度で、出店者はいずれも農薬と化学肥料を使用しない農法を採用する農家。販売されているのは人の体にやさしい野菜ばかりです。出店者はここを個人経営の農家が新たな可能性を見出す場所であり、自然にやさしい生活様式を台北市民と分かち合う場所だと考えています。産地から食卓までの距離を縮めるこのバザーは、コンクリートジャングルに住む台北市民の田園都市に対する期待を花開かせる緑の種のような存在となっています。

台北市が推進する田園都市計画は近年、地域コミュニティーの間にしっかりと浸透しつつあり、光復南路・復建里の「幸福農場」、富錦街民生社区・東栄里の「開心農場」といった、地域住民が自発的に開設したコミュニティー農

園では毎年、作物の栽培のための利用を住民に無料で開放していますが、常に定員を上回る応募があるそうです。

光復南路32巷と46巷の間には、「眷村」（戦後すぐ中国大陸から移住してきた軍属の人々を中心にした集住地域）が解体された後、長年にわたり使用されていない荒廃した土地があり、近隣住民から敬遠される存在となりました。そこで松山区復建里の林際泓里長は、所有者である軍を説得してこの土地を提供してもらい、まず48区画の小さな菜園を作って住民に無料で貸し出しました。林里長は当初、「みんな忙しいから野菜を育てようなんて人はいないかもしれない」と不安でしたが、思いがけないことに数日で「満員御礼」となっていました。この事業を引き継いだ現職の林坤信里長は菜園をさらに



4. 田園都市計画は都市における人間関係が希薄になりがちな状況を打破し、人と人の豊かな交流を取り戻しました。(写真/楊智仁)

5. 復建里の幸福農場では住民たちが作物をまるで我が子のように育てています。(写真/楊智仁)

たちと一緒に土いじりを楽しみ、「今の時期はベニバナボロギクを植えるべきかしら、それともミツバかしら」などと話に花を咲かせます。この緑の宝石のようなコミュニティ農園に来れば、山に登らなくても自然を満喫でき、ささやかながらも確かな幸せを感じることができます。

もうしばらくすると、アイスバーグレタスやリーフレタス、「大陸妹」（中国原産のレタスの品種）といったレタス類が農園を緑一色に変えます。ある住民は保水のため菜園の周囲に銅銭草（ウコギ科の植物）を植えようと計画したり、ある者は植物棚を持ち込んだり、またある者はヘチマが実を結ぶためにつるをきちんと伸ばせるよう準備に余念がありません。誰もが自慢の菜園に夢中です。快適な生活を手に入れるのに何も遠くへ行く必要はありません。緑あふれる田園都市、台北の中で十分可能なのです。①

168 区画まで拡大しましたが、希望者が多く、競争率はますます上がっているそうです。

東栄里の開心農場はさらに広く、面積は2,500坪に達します。もともとは空軍の眷村が解体された後にできた空き地となっていました。2010年に台北で花博が開催されたことを機に鄭玉梅里長が軍に掛け合っ同地を農園に変えました。該当地区の3,000人余の住民に対して180区画が提供されていますが、ここでも毎年、借りたいという住民が申請の列を作っています。

台北市公園処園芸科の蘇怡萍科長は、田園都市計画は都市における人間関係が希薄になりがちな状況を打破し、人と人の豊かな交流を取り戻したと強調します。また田園基地により緑地スペースが拡大されたことで都市の生

態学的機能も向上しており、市民が自然と新たな関係を築くことで心と体の健康を増進させる役に立てばと期待を語ります。

復建里の住民たちは暑い日も雨の日も、自分の育てる作物を見に農園へやって来て、水をやったり、草を抜いたり、隣の区画を借りている住民とのおしゃべりを楽しんだりしています。林里長によると、かつては同じ地域に住んでいながら互いに相手のことがよく分からない状態だったけれど、農園ができてみんなが自分の子供のように作物を育てるようになると共通の話題が生まれ、見知らぬ隣人から仲の良い友人へと変わったといいます。

東栄里の鄭里長も、朝から昼間まで仕事をこなし、晩ごはんの支度までの時間を利用して地域のお母さんやおばあちゃん



台湾にある「グリーン」の奇跡 台北 101 国際環境認証「LEED v4」に挑戦

文 — 張煥鵬
写真 — 台北 101

台北 101 の 89 階にある展望台に立てば、二層のガラスを隔てた向こうに街全体の景観を望むことができます。たくさんの人々がここへ登って台北の夜景を楽しんでいます。このビルが世界で最も高い「グリーンビルディング」であり、省エネと環境保護に対するさまざまな工夫が隠されていることを知る人は多くはありません。

「外壁の二層になっているガラスの間には、不活性ガスという特殊な気体を流し込んであります。この気体によって効率的に熱を遮断し、空調の負担を減らすことができます」台北 101 の劉家豪広

報担当はこう語ります。このビルを設計する際、多くの革新的な建築技術だけでなく環境保護や省エネのアイデアも重要なポイントとして取り入れられました。

世界で最も高い グリーンビルディング

台北 101 は世界的に知られたランドマークで、環境に配慮した超高層ビルとしても国際的に認められています。2011 年、台北 101 は環境にやさしいグリーンビルディングの国際基準「LEED (Leadership in Energy and Environmental Design)」のプラチナクラス認証を取得し、世界で最も高いグリーンビルディングと認められました。今年はさらに厳しい基準の「LEED v4」認証の取得に挑戦し、世界的にもこの種の建築物の新たなモデルとなるべ

く取り組んでいます。このビルはグリーンビルディングの国際認証だけでなく、環境情報のニュースサイト「グリーン・ビズ (Greenbiz.com)」によって「世界のエコオフィストップ 10」にも選ばれています。

台北 101 の環境保護に対する思いは、さまざまなデザインから感じ取ることができます。例えば「再生水システム」で雨水を集めて再利用したり、給湯室やトイレで蛇口を節水効果のあるシャワー式に取り換えたりしています。劉広報担当によれば集められた雨水はすべて同ビルの植物への水やりに使われ、これによって毎年かなりの水量を節約することができるそうです。このほかにも照明システム、エネルギー管理制御システム、ごみ運送と減量シ



ステムなど、いずれも台北 101 の省エネと環境保護に対する投資となっています。

「ハードウェアへの投資は数千万台湾ドルにのびりましたが、長期的に見れば膨大な水道代と電気代を節約することが可能となるほか、省エネや二酸化炭素(CO₂)排出量削減にも役立ちます。これは非常に価値のある投資です」劉広報担当はこう話します。台北 101 はまたテナント各社に環境保護の取り組みへの参加を呼びかけ、再生紙の使用や使い捨て食器の撤廃を奨励し、「地球を大切に」というスローガンを実際の行動に移しています。テナント各社との努力の下、台北 101 の資源回収率は 75%に達しています。

環境保護は企業の責任

台北 101 は実際の取り組みで環境保護に関するさまざまなイベントを応援し、企業の社会的責任を果たしています。例えば 2009 年には「アースアワー」(3 月の最終土曜日の夜 8 時半から 9 時半の 1

時間、電気を使わないイベント)に参加し、世界各地の有名なランドマークと共に外壁の照明を消しました。劉広報担当は、台北 101 は国際的な知名度とブランドイメージを喜んで利用して公益活動に参加しており、このビルが率先して行動する姿をより多くの人々が見て、環境保護に関する活動に参加してくれることを願っていると語りました。

また台北 101 は台湾電力と「空調システム自動デマンドレスポンス措置」を締結した最初のビルです。これは電力使用量を減らして電力を生み出すというコンセプトで、コンピューターによるスマートモニタリングシステムによって電力使用のピークタイムに効果的に使用量を抑えることができます。これにより省エネと CO₂ 削減という目標を達成し、環境保護という企業理念を実現しています。

このほか、台北 101 は経済部の「自発的グリーン電気料金制度試

1. 台北 101 ビルは世界的に高く評価されている環境配慮型のビルです。(写真/台北 101 ビル 陳政偉)
2. 台北 101 ビルはオフィスビルのロビーにグリーンビルディングを紹介する「グリーンコーナー」を設けています。(写真/台北 101 ビル)

行計画」に参加し、グリーン電力の使用を環境保護の出発点としています。グリーン電力の買取料金は 1 キロワットアワー (kWh) あたり 1.06 台湾ドル増しで、台北 101 は 101 万 kWh のグリーン電気を購入しています。電気料金は台湾電力の「再生エネルギー発展基金」に用いられ、台湾の再生可能エネルギー発展の支持につながっています。

地球の環境保護に対する積極的な取り組みとしては、まず周辺環境の保護を推進しています。中強公園の保全を行ったり、オフィスビルのロビーにグリーンビルディングを紹介する「グリーンコーナー」を設け無料のガイドサービス「グリーンツアー」を実施したりしています。台北 101 の取り組みを伝え、地球に優しい暮らしを確実にこの街に根づかせることが目的です。今年夏には「持続可能な環境保全」をテーマとしたコンサートを開催する予定です。台北 101 は音楽を通じて環境保護の理念を伝え、さらに多くの人がこの地球を守るために行動してくれることを願っています。①

認可宿泊施設で 素晴らしい台北の旅を

文 _ 許麗苓

写真 _ 許育愷

格安航空会社（LCC）の台頭に伴い、各国からの自由旅行者が増加しています。とくに「レッドアイ」と呼ばれる深夜便の利用客はいつも深夜か早朝に到着した後、荷物を転がしながらホテルにチェックインします。そのため台北駅周辺では続々と宿泊施設が増えています。

新しい宿泊施設はほとんどが24時間チェックイン可能で、タクシー手配、モーニングコール、無料の荷物預かりサービスなどを提供しています。さらに臨時の入浴と着替えのサービスを受けられるところもあります。

ロビーに掛けられている「H」が描かれた金色の看板は、この宿泊施設が認可施設であることを表しています。用地、防火施設、建築材料、エレベーターや空調、消火器、非常口などが厳しい公共安全に関する申告、消防設備の審査をクリアしている証拠で、この看板は利用客にとって安全のお守りであると言えるでしょう。



数百円で泊まれる 良質な宿泊施設も

今後開通する MRT 空港線、台北の新たな玄関口となる北門駅付近に位置するイン・キューブ（品格子旅店）3S 館は、低価格かつ特色あるバックパッカー向けの宿泊施設です。小さく清潔な部屋は1坪もありませんが、快適なベッド、テレビ、WiFiなどが揃っています。気の利いた女性専

用ルーム、バスルーム、パウダールームもあり、旅行好きの女性も安心して台北を満喫することができます。

イン・キューブの呉孟軒董事長はかつて新竹のサイエンスパークでエンジニアをしていて、旅行者の特徴についての分析が得意です。「旅客数の成長はLCCの増便と直接はっきりとした関係があります。



例えば、韓国からは5社のLCCが毎日運航しています。利用客の大多数が初めて台湾へ来た人たちで、活動範囲は台北市、新北市がメインです」呉董事長はこう話します。

韓国人旅行客の増加に対応するため、イン・キューブ3S館には韓国語を話せるスタッフが多く働いており、案内マークも韓国語表示を増やしました。また韓国のデパートにならってマウスウォッシュを用意し、利用客が爽やかな息を保てるようにしてあります。面白いことに、台湾の老舗ブランドの歯磨き粉、たんすに入れて使う衣類の芳香剤、インスタントのミルクティーなどが韓国人旅行客に最も人気があるお土産なのだそうです。2015年度に台湾を訪れた韓国人旅行客は延べ65万8,757人で、2014年度より24.84%増加しました。これはLCC



と低価格宿泊施設の優良なサービスと密接な関係があります。

宿泊施設の 品質向上に努める台北市

台北市観光伝播局の沈永華専門委員によると、現在すでに17社のLCCが台湾と各国を結んでおり、主に自由旅行の人々が利用しているとのこと。2015年度を例に挙げると、新たにオープンした宿泊施設の40%がベッドごとに宿泊料金を計算するユースホステルやイン・キューブ3S館のようなバックパッカー向けの施設でした。台北市にはこのような宿泊施設が合計30施設以上、2,200のベッドがあり、一晚数百円で利用できる低価格で優良な宿が提供されています。

各部屋の内装はそれぞれ工夫が凝らされていますが、ちりひと

1. ロビーに掛けられている「H」が描かれた金色の看板は、利用客にとって安全のお守りです。
2. イン・キューブは細やかなサービスと優良な設備を提供しています。

つ落ちていない公共のバスルーム、高速インターネット、熱心で親切なフロントサービスは共通した特徴です。今後も台北市は宿泊施設のバリアフリー環境の改善、公共安全への補助、古い宿泊施設の改善指導、さらにムスリム・フレンドリーなど多様な文化の人々も利用しやすい宿泊施設の提供などを盛り込んだ計画を推進し、台北の宿泊サービスの品質向上にたゆまぬ努力を続けます。①

認可宿泊施設は「台湾旅宿網 (taiwanstay.net.tw)」で調べることができます。宿泊前に認可施設であることを示す登録番号を確認してください。

台北でホタル観賞の小さな旅を

文 __ 台湾生態旅遊協会 賴儀宜

写真 __ 王億傑、台湾生態旅遊協会、大麦影像工作室

台北市内でホタル観賞ができる—多くの台北人がこのことを知らないでしょう。ホタル観賞の季節は4月中旬から始まり、草むらにピカピカとホタルの光が舞う様子はまるで野原にきらめく星のようです。ホタル観賞に最適の時間は日没後の6時半頃からで、夜8時以降はホタルの光は少なくなります。空が暗ければ暗いほど、また光の邪魔が少なければ少ないほど良いです。大雨や霧の濃い日はホタルはあまり飛びませんので、天気が悪い時はホタル観賞にはふさわしくありません。また夜になって滑りやすい道を歩くと危険です。

この時期、台北市で見ることができる代表的なホタルを紹介しましょう



キブチボタル (黄縁螢)

黄色い光を発するキブチボタルは主に台湾北部に分布し、水生ホタルのうち最もよく見られる品種です。幼虫は巻貝を食べ、きれいな水の中でないと成長できないので、これが重要な環境指標のひとつとなります。キブチボタルはかつて台北盆地でよく見ることができましたが、水質汚染や土地開発により大きく減少しました。そのため台北市は近年、大型の都市公園でキブチボタルを保全する取り組みを行っています。



クロバネボタル (黒翅晦螢)

旧名を「黒翅螢」というホタルで台湾に広く分布しています。台湾のホタル観賞で最も多く観察される種類で、通常4～6月に大量に現れ黄緑色の光を発します。幼虫は陸生で湿った土壌の表面に暮らし、カタツムリを食べます。

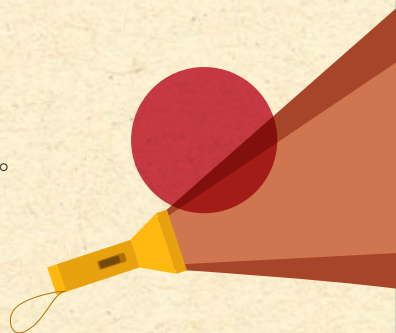
ホタル観賞へ出発する前に、以下に注意しましょう



1. ホタル観賞の際には薄手の長袖、長ズボン、運動靴を着用しましょう。サンダルは履かないでください。蚊などの虫に刺されますし、へびに出会う可能性もあります。



2. 懐中電灯には赤いセロファンを巻きましょう。光の明るさを落とし、ホタルの生態への影響を軽減できます。



3. 夜間の観賞は安全に注意してください。必ず誰かと一緒に行動し、1人で山へ登らないでください。



4. 道に詳しくない場合は、解説員が案内するホタル観賞イベントに申し込みましょう。安全を確保しながら、より多くの知識を学ぶことができます。



準備はいいですか？では環境に優しく便利なBMW方式（BUS・METRO・WALK）で、提灯を下げたホタルの後を追って虎山溪歩道へ行き、美しい夏の楽しい旅にでかけましょう！

交通：

MRT 板南線「後山埤」駅から徒歩約15分

バスは「奉天宮」または「福徳国小」のバス停で下車



14:00 ~ 15:30

虎山奉天宮歩道

虎山は四獸山のひとつで、奉天宮はこの虎山の虎のしっぽにあたる位置にあります。この稜線歩道は虎の背に沿って登るルートで、道端にはシダ植物などさまざまな植物が生息しており目を楽しませてくれます。林の中を歩けばとても涼しく、途中のあずまやで休憩することもできます。120高地と虎山峰は台北盆地を觀賞する最高の場所です。眼下に大きく広がる景色を望めば、繁華街の信義区、台北101、松山や南港、さらに天気によければ遠くに陽明山や内湖の山々まで見え、台北にはこんなにも身近に自然があるのだと驚きます。虎山峰は虎の頭で、ここから歩道に沿って坂を降りれば瑤池宮に到着します。(虎山峰観景台は改修中です。安全に注意してください)



途中にある四獸広場には獅子、象、虎、豹を表す石柱があります。ここでひと休みして近くにある農園の風景を楽しんだりできます。虎嘯亭そばの親水スペースではさらさらと流れる水の音と虫たちの合唱が聞こえてきます。歩調を緩めて胸を開き、五感で自然の美しさを味わってください。

虎山溪歩道では昔からここに住む陸生ホタルのクロバネボタルと数が少ないアカムネクロバネボタル、生態系の再生のために放された水生ホタルのキブチボタルが觀賞できます。注意してほしいのは、唐の詩人・杜牧のように「輕羅小扇撲流螢(扇でホタルをつかまえる)」、または昔の人のように「囊螢照書(ホタルの光で本を読む)」ようなことはしないでください。ホタルの発光はパートナーを探し次世代を残すためのもので、成虫の命はとても短いのです。静かに觀賞するだけにしないでください。それでこそホタルが輝く夜景を未来へ残すことができるというものです。このほか松山慈恵堂から虎山自然歩道を登るとクロバネボタルが見えるかもしれません。歩道はやや急な坂道なの

15:30 ~ 17:00

虎山溪歩道

瑤池宮から虎山復興園歩道に沿って歩くか、または福德街221巷を真光禅寺と南天宮のほうへ進めば虎山溪歩道の環状路線へ行くことができます。ホタル觀賞の前にぐるっと歩けば道の状況が把握できますし、日中の風景を楽しむこともできます。歩道の

17:00 ~ 18:30

夕食

慈恵堂の前には屋台があります。また福德街まで行けば食堂、屋台、コンビニエンスストアがあります。

18:30 ~ 19:30

虎山溪歩道でホタル觀賞

午後6時半を過ぎると空が暗くなり、だんだんとホタルが現れます。





で少し疲れます。安全に注意してください。

ホタル観賞のほか、夜の虎山溪ではカエルの合唱が聞こえるかもしれません。「ケロケロケロ」と鳴く台湾ハラブチガエル、「グオググオググオツ」と鳴くクールガエル、それから鳴き声が口の中にももってあまりよく分からないようなラトウチガエルなどがいます。静かに耳をそばだてて、何種類のカエルの声が聞こえるか挑戦してみたいはいかがでしょうか。

都市の公園にホタルを

台北市はこの数年、近郊だけではなく市内の公園にもホタルが暮らせる場所を整備する努力を続けています。現在、榮星花園、

木柵公園、大安森林公園などにホタルがいますが、榮星花園と木柵公園の生息数が比較的多くなっています。この2つの公園にはきれいな地下水があり、キブチボタルの生息に適した環境となっています。このような生態が再生された池をキブチホタルが舞うのを見るのはとても感動的なことです。この台湾の取り組みは世界からも注目されており、2017年にはホタルの国際イベントが台湾で開催される予定です。

台北で失われたホタルを復活させることは容易なことではありません。大安森林公園の友基金会、文山コミュニティカレッジ、荒野保護協会などの団体がボランティアの協力でホタルの住みかを再生しています。ホタルが現

1. 大安森林公園のイベントでホタルを放す子ども(写真/台湾生態旅遊協会 王億傑)
2. 集まって光を放つキブチボタル(写真/大麦映像工作室)



れる季節には街灯の明るさを減らしたり、ホタルが暮らしやすい植物を植えたりしています。最も困難なのは公園内に生息する外来種の生物、例えば人々が公園に放したミシシippアカミミガメや魚などを取り除くことです。ホタル観賞に来るみなさんは、どうぞ生態系の維持に協力してください。生き物にエサを与えて水を汚したり、飼っている動物を放したりしないでください。この夜にきらめく光の精霊たちがいつまでも私たちと一緒にいられるようにしましょう。①



最高にご機嫌なペナルティは 「乾杯！」

文 _ 江欣盈
写真 _ 李開明

ちょうどバブル経済がはじける直前、90年代初頭の日本では、目の前に広がる繁栄を謳歌し、理想と夢はたった一步先にありました。仕事を終えた会社員たちは居酒屋に集まり、先輩らは志を胸に大いに語り、後輩らは掲げたグラスを飲み干します。「イッキ！イッキ！イッキ！」心地よく酔えば、多彩なゲームが次々に行われます。年齢や性別、地位も問わな

い、食べ比べ、飲み比べ、度胸比べが繰り広げられます。東京渋谷の居酒屋の喧騒と愉快的な酒の席の雰囲気、これが飲食グループ「乾杯集団」董事長を務める平出 荘司さんの出発点でした。

チャンス？ 運命？ 想定外の焼肉の道

「焼肉」「ビール」そしてキス10秒間でプレゼントされる豚バラ肉「親親猪五花」—このキーワードを聞けば、20～40歳の台北人はほぼ瞬時に「乾杯焼肉居酒屋」

を思い浮かべるでしょう。誕生日会や飲み会、送別会などどんな形式の集まりであっても、ワイワイガヤガヤとしたにぎやかな居酒屋では素晴らしい思い出になります。「乾杯」は間違いなく台湾の焼肉文化を変えたばかりでなく、台北人の食をめぐる思い出の中の「居酒屋」の代名詞ともなっています。台湾人の母を持ち日本で育った平出さんにとって、台湾との最初のつながりは食べ物でした。台湾から来た親戚と交流する機会がしばしばあり、台湾のイ



メージは食べ物と人情によって形作られたといいます。「見た目はこんなに似ているのに、言葉が通じないのはもったいないと思って」、高校を卒業したら台北で中国語を学ぼうと決心しました。台湾に来て2年目、焼肉店を経営する友人を連れてやってきた母親が、台湾で支店を出すことを決めました。平出さんは台湾の支店出店のため、日本で半年間にわたって焼肉店経営を学び、台湾の輔仁大学に入学するまで一年間日本の焼肉店で働きました。

「大学を卒業したら日本に帰って普通のサラリーマンになるだろうと考えていたので、飲食業に足を踏み入れるとは思いませんでした」と平出さんは笑います。大学を卒業する前、大学3年生の時に、思いがけず台北市の「東区」と呼ばれる繁華街で経営不振となっていた焼肉店を譲り受け、当時の仲間とワイワイ楽しみながらにぎやかでユニークな「乾杯」を立ち上げ、これからさまざまな課題が待ち受ける焼肉店経営の道を歩み始めたのでした。

1. 「焼とりの八兵衛」は福岡発祥、博多の本場の味わいです。台湾の地鶏「桂土土鶏」と、宜蘭の黒豚を使い、台湾でしか味わえないおいしさを提供します。ワインから日本酒、ビールまでを豊富に取りそろえ、友人との集まりにぴったり。
2. 平出さんの言葉には飲食ビジネスに対する情熱があふれています。台湾と日本の双方の血を引き、台湾の人の豪快さと日本人の細やかな気遣いを兼ね備えています。



何でもいただき！ 台北の多彩な酒と食の文化

平出さんの目には、台北はとても包容力のある街に映ります。「台北の人々は海外の料理を何でも受け入れ、何でも食べますよね。これはとても大事な文化だと思います」。平出さんは鍋料理を例に語ります。1980年代から1990年代ごろにかけ、鍋料理「火鍋」はわずか10年ほどの間に飲食業界の主流となりました。台湾の昔ながらの料理である「薑母鴨（ショウガとごま油をベースにした煮込みアヒル肉の鍋）」や「烧酒鶏（酒と漢方食材を使った煮込み鶏

肉）」のほか、中国東北地方がルーツの「酸菜鍋（白菜の漬物と豚肉の鍋）」、身体にいい漢方食材たっぷりのモンゴル風「蒙古鍋」、中国南方、四川風味のピリ辛「麻辣鍋」、日本風のしゃぶしゃぶ「涮涮鍋」、さらには最近流行の韓国風「ブデチゲ」まで、さまざまな鍋料理が台湾ではそのルーツの地方の特色をうまく取り入れて融合され、広く人気を博しています。これは台北人の「何でも受け入れる」という気風を反映しているのではないかと平出さんは考えます。台湾と日本の酒文化も異なります。平出さんは、「台湾では

『ご飯を食べること』と『酒を飲むこと』が別々のこととしてとらえられていて、もし今日の食事が酒席だということが分かれば、必死に飲まないといけないと思ってちょっと肩に力が入るみたいですね」と笑います。「乾杯」という言葉は中国語では盃を干して誠意と気迫を示すものです。一方、日本語の「カンパイ」は祝福の気持を示すものであって、「盃を干して敬意を示す」という中国語の意味合いとはやや違います。平出さんにとり、ご飯をいただくこととお酒を飲むことはリラックスできるハッピーなことであ



3

3. 鉄板懐石「季月」は、最高級のオーストラリア和牛と旬の新鮮な食材を使い、3カ月ごとにメニューを入れ替えます。懐石料理と鉄板焼きのコンセプトを両立させています。

り、どちらもゆっくりと同時に進めながら、人と人との交流を楽しむものです。「楽しくご飯を食べ、酒を飲みながらおしゃべりする」—これが、平出さんが台北の人々と共有したい酒と食の哲学です。

子供の時の台湾料理のイメージをたずねると、平出さんは迷わず「とっても美味しい牛肉麺！」

と答えます。台湾では牛肉を食する歴史は浅く、牛とともに田畑を耕していた農業が機械化されてからようやく普及しました。長く60年から70年といったところですが、牛肉麺はいまや海外の人々が目当てにする定番のグルメとなっています。特に台北市では全盛期には鄭州路の道沿いがすべて牛肉麺店で埋め尽くされるほどでした。台北市も幾度となく牛肉麺フェスティバルを行うほどですから、その人気ぶりがうかがえるでしょう。ところが気候風土や文化的な要素から、台湾の国産牛肉の生産は極めて少量です。輸入肉を選ぶのは消費者と飲食にかかわる経営者にとってはある種のハードルとなっています。平出さんは牛肉の大きなニーズをよく理解しながら、オーストラリアの畜産業者と関係を深め、良質でリーズナブルなオーストラリア和牛を輸入する一方、焼肉から鉄板焼き、串焼き、鍋料理まで日本の外食ブランドを台湾に誘致し、牛一頭のすべての部位を存分に生かします。より多くの人に牛肉料理の魅力を知ってもらい、将来的には同業者にもっと素晴らしい肉の選択肢を提供したいと考えています。

「社会に対して、適正なものを食べてもらうという大きな責任

を負っていると考えています。安心で安全、そして美味しいものを食べれば気持ちも元気になる、明日も頑張ろうという活力になる。これはお客様に対する私の任務です」と平出さんは語ります。牛肉とそれに関連する技術を導入するだけでなく、台湾のよさも広めたいと願う平出さんは、台湾の豚肉や鶏肉は最高級の美味しさを備えていると言います。そこで、乾杯集団は、ラーメンの「一風堂」や「焼とりの八兵衛」を台湾で展開し、いずれも台湾産豚肉と当日さばいたばかりの地元の鶏肉を使い、台湾ならではの味を打ち出しています。「台北～東京日帰り生活圈」とも言うべき便利な時代に、平出さんは台北を日本の美食家に最も愛されるグルメタウンに押し上げたいと期待を込めます。

盃と皿の中に 見出す人生の味わい

「新しい年は昼食で明けた」。『南仏プロヴァンスの12か月』*がこの一文で始まるように、食は往々にして人の暮らしを代表するものです。盃が酌み交わされる間に私たちはさまざまな経験をし、人生の真理を悟り、味覚と人生の味わいを積み重ねていきます。青春の活力にあふれる「乾杯」、酸いも甘いも経験した円熟の「老



乾杯」から、ゆるやかな時が流れる優雅なステーキハウス「KP 牛排小酒館」、お酒で友と交流するお酒スクール「乾杯 SAKE 学苑」まで、平出さんが手掛ける事業は人生のさまざまな段階を反映しています。大学のころはバイクに乗り台北のあちこちを探索し、行き詰まったときには陽明山で温泉で心身を休め、結婚してからは自転車で市内をゆっくりめぐり、この街がだんだんと姿を変えていくのを見守っています。最近ではベビーカーを押しながら国父紀念館のあたりを散歩するのが一番幸せな時間だと言います。人生

の歩みは少しゆったりしてきましたが、仕事への情熱は相変わらずです。乾杯は去年、台北から世界への一步を踏み出し、上海に海外一号店をオープンしました。台湾人の妻を持つ平出さんは自分のことを「台商（台湾系ビジネスマン）」と自負し、世界に台湾発の日本の味を届けたいと意気込みを語ります。台北に住んで20年以上、学業、起業から、家族を持つまで、平出さんは輝かしい青春の日々をすべてこの大地に惜しみなく注ぎ、数え切れないほどの縁が血と縁で結ばれたつながりをさらに深めていきます。台北、

4. 「季月」(左)の食後のデザートは鉄板の前を離れ、カフェ「季月咖啡」(右)に移動してソファエリアでゆっくりいただくことができます。これも平出さんのスローフード哲学の一つです。食後のデザートだけでなく、アフタヌーンティーも提供しています。

平出さんにとりそれはもはや遠くにある異郷ではなくなっているのです。📍

※ 河出文庫版『南仏プロヴァンスの12か月』より、ピーター・メイル著、池央歌訳。

飲酒は適量を心がけましょう。健康に危害を及ぼすおそれがあります。

マーク・ルイスさんと第二の故郷 あるアメリカ人外交官の 台北ストーリー

文 _ Rick Charette

写真 _ Mark Lewis

米国ワシントン D.C. 出身のマーク・アシュレー・ルイス (Mark Ashley Lewis) さんは 30 年以上、台北という町の根っこからの変化を目撃してきました。彼はある役割—より正確には数多くの異なる役割ですが—をその変化の中で担ってきました。ルイスさんがみなさんへ、かつて彼が知っていた、そして今彼が知っているこの首都—台北の物語を語ってくれます。

1980 年代初期に台湾へやってきた時、ルイスさんははつらつとした 20 代前半の若者でした。彼はニューヨークのコロンビア大学を休学して、中国語の研究に打ち込むために台湾師範大学の国語教学センターへやってきたのです。現在、ルイスさんは米国在台湾協会 (AIT) の通商副長官を務めています。ルイスさんの目と言葉の中で、どんな物語が展開していくのか見ていきましょう。



文化の魅力

ルイスさんはワシントン D.C. 出身、ニューヨークのコロンビア大で東アジアの言語と文化およびエンジニアリングを学び、学位を取得しました。ルイスさんをアジア、中華文化、そして台湾へと向かわせたものは何だったのでしょうか。「幼い頃、私の母はよく兄と私を芝居やショーに連れて行ってくれました。私たちはいつもその前か後にワシントンの小さなチャイナタウンで食事をしたのです。多くのアメリカ人にとってそうであるように、それが私にとって初めて接した“中国のもの”でした。それから高校に入っ

1. 現在、米国在台湾協会の通商副長官を務めるルイスさんが最初に中国語の研究のために台湾へ来たのは 1983 年でした。

てできた親友のひとりが中国人でした」とルイスさんは語ります。

「その後進学したコロンビア大学は中国人と台湾人が多く、とりわけ私の学んだエンジニアリングのプログラムではそうでした。“中国のもの”に、より接しやすくなったわけです。1980 年代前半は日本と東アジアの成長に対する関心が高まった時代でした。私の先生が中国語と中華文化の研究をしてすばらしい時間を過ごしているのを見て、お

むしろそうだと思います。そこで1年休学することを決心して飛行機に飛び乗り、集中的に研究するために台北へやってきたのです。」

台湾へやってきたルイスさんは、ここが自分にぴったりだと感じました。そしてコロンビア大学の東アジア言語・文化プログラムを卒業するとすぐに台湾へ戻ってきました。ここにはチャンスがあると感じたそうです。まず最初に有名な米国系の広告会社で企業向けビジネスに約7年間携わりました。「米国と台湾の文化の懸け橋として双方に関係し、尽くしていると感じました」中国語を使って仕事をし、「自分の才能と努力を十分に生かしている」ことも幸せでした。今も文化の懸け橋としての役割は彼の職業人生における核心として残り続けています。

温かく友好的な人々

ルイスさんはいつも、台北と台湾の人々は偏見がなく広い心を持っていると思っているそうです。「かつての台北は現在の台北とは全く異なりますが、私は居心地がいいといつも感じてきました。そう、あの頃は戒厳令が敷かれていたのですよ」当時、人々は旅行の経験はあまりなく、現在の

ように世界中を旅するようなことはありませんでした。「台湾にいる黒人の数は片手で数えられました」と彼は言います。「人々はまるで何か新しいものを発見したように私を指差したものです」アラブ人だと思われることもしばしばあったほど、台湾を訪れる黒人はとても少なかったのです。

ルイスさんは当初、少し居心地が悪く感じましたが、だんだんと慣れていったそうです。なぜなら悪意よりもむしろ友好的な好奇心を持った人が多かったからです。「今も変わりませんが、人々はとても友好的でおしゃべりと分かち合うことが好きです。必要な時にはいつもすぐに助けてくれたし、台湾の文化について知りたいと言うと喜びました。妻のクリスタルとは1986年、台湾に戻ってきてから出会いました。台湾で生まれ育った妻はとても自由な考え方をを持った女性で、私が外国人で黒人であることが問題になったことは一度もありません。妻の両親と兄弟姉妹も私たちを応援してくれました。とくにニューヨークに住んだことのある彼女の兄は、シンプルに“マークはいいやつだ。コロンビア大学へ行っていたのならもっといい”と言いました。親戚たちも私を受け入れてくれて、最初の日から自

分は家族の一部だと感じました。義理の父は素晴らしい男性で、私を息子のように扱ってくれます。義理の母は二言、“夫婦としてのあなたたちの幸せがすべてなのよ”それから“マークは肌の色がちょっと黒いけど、いい人ね！”と言いました。」

台北という街—過去と現在

「以前の台湾は、まだ発展の途上で今のような自由はありませんでしたが、私にとっては素晴らしい場所でした。人々は友好的でした。かつては今のような快適さを楽しむことはできませんでした。台北にきちんとした MRT や清潔なトイレなどがなかったことを思い出すのは難しくなりましたね。昔はどこもかしこもバスの渋滞で、アメリカの基準で見ると快適な生活とはかけはなれていました」

「アメリカ人として思うのですが、あの当時も今も、台湾のみなさんは米国文化をととても歓迎してくれます。その後、さまざまなものが著しく成長しました。台湾は米国にとって9番目の貿易相手であり、多くの点で重要なパートナーです。私もまた個人的に成長してきました。ここで2人の息子を育て、家族を養っています」台北は彼が選んだ家であり、彼の家

族は間違いなくここを心地よく感じています。「これまで職業を2、3度変えました。広告業からジャーナリズムへ転向し、UPI通信社の台湾オフィスで働きました。台北の暮らしやすさは、さまざまな方法でより快適な水準へと向上しています。台北は私がこれまで旅行したり住んだりしたどの場所より、またアメリカの多くの場所よりも暮らしやすい街です」

この街の気ぜわしい商業活動は魅力的な便利さを実現しています。「必要なものはすべて、通常数ブロック歩くだけで手に入ります。遠くても1マイル以上はかかりません。これは他のどこでも、少なくとも私が住んだことがあるどんな場所でも難しい。おそらくニューヨーク以外ではね。台北は便利で清潔で安全です。このような場所は米国にも、他のどこにもないと思います。夜、公園を歩いてもまったく安全なのですから」

ルイスさんが車を運転することはまれです。「MRTや公共交通機関があるので必要ありません。タクシーも至るところで見かけます。私はほぼ毎週末、車を運転して山へ行きます。台北、そして台湾全土は緑の山々に囲まれて



いて、町を抜け出して自然に触れるすばらしい機会を与えてくれます」いつも新しい山の小道やランニングコースがあり、ルイスさんは地元住民と海外からの駐在者が参加しているランニングクラブ、ハッシュハウスハリアーズのメンバーたちと一緒に走っているそうです。ハッシュハウスハリアーズは台湾各地に支部を置き、この地で長い歴史があります。

彼の家族はルイスさんが他に配属されていた2003年から2014年の間、台湾を離れていました。その後家族と台北へ戻って来た時、彼はこの町が根本的に変わりつつあることに気づきました。「山道でのランニングやハイキングはすばらしいエクササイズですが、それ以上に台北では多くのことが起こっています。かつて人々はハイキングや、自転車

2. 熱心なランナーはほぼ毎週末、山へ向かいます。

に乗ったり登山したりすることについて話すことすらしませんでした。現在ここでは暮らし方、働き方、娯楽に対する人々の態度に劇的な変化が起こっています」

かつて、ほとんどの人たちが余暇の時間のほとんどを室内で過ごしていました。一般的な家庭の娯楽は、どの家でもビデオを借りてきて一緒に見ることでした。しかし現在では多彩なアウトドアをレジャーとして楽しむことができます。「昔とは完全に変わりました。以前は、例えば30代の男性の話題といえどもっぱら仕事のことでした。今ではすべての年代の人々がハイキングや自転車、さらにはパラグライディングやスキューバダ



3. ルイスさんの家族。奥さんのクリスタルさんとは1986年後半に出会い、翌年すぐ結婚しました。

イビングなどクールなレジャーを楽しんでいます。私は「わあ、ここはなんてすてきな場所なんだろう」と思いますよ。私も20代、30代の頃に帰って自転車、ハイキング、水泳、ロッククライミング、沢登り、なんでもやっています」

花園の町、台北

ルイスさんは台北が田園都市づくりを進めていることに賛成です。「賛成していますよ」彼はこうはっきり言います。「なぜならとくに私がランニングやハイキングをするからです。ここは完璧な場所です。MRTですぐに公園や登山を始められる場所へ行けることができます」台北で好きな場所はあるかと聞かれて短い時間考えた後、ルイスさんは特別に好きなコースはないと答えました。彼はいつも家の近くにある北投の軍艦岩の周りを走るそうです。気

に入っている理由は「勾配が緩やかで障害物がないから」というシンプルなもの。そして台北にはこのような場所がたくさんあるそうです。

「おかしなことに」と彼は続けます。「ここで長い間過ごしているのに、すぐそこにある陽明山を今も楽しんでいるんです」陽明山国家公園は多くが街に向かってふもとが傾斜しており、高いところは台北北部に広がっています。ルイスさんはとくに陽明山の小油坑が好きなのだそうです。噴気孔があることで有名な場所であり、後火山作用によって地滑りした地形をしています。「屋外の天然温泉はとても気持ちがいいです。とくに冬ですね。大自然と天然温泉、余計なものは何もありません」

以前、ルイスさんはよく木柵の猫空へよく行ったそうです。猫空は茶農家と素朴な茶屋があり、茶畑が山の斜面に広がって遠くには都会の町並みを望む風景にひたれる場所です。最近ではあまり時間がなくて訪れていないと言います。「猫空へ行ってお茶やコーヒーを楽しみ、リラックスするのはすばらしい。時間が止まり、安らぎを感じます」

最後にルイスさんは、田園都市という話題について異なる角度からの観点を語り、台北の食べ物がいかにすばらしく、その日手に入ったばかりの新鮮な材料がどれだけ多く使われているかについて話してくれました。「中国に住んだ後、特に私はこの町の食べ物新鮮さ、安全性、信頼度、そして作り方を高く評価しています。台北と台湾の人々は、他の場所にあるどのレストランよりもこういったことに時間をかけ、注意を払っています」

「ここでとても快適な人生を送っています」。📍

懐かしの味＋流行の欧州風

台北ならではの幸せなパンの香り

文 _ 陳婉菁

写真 _ 台北市観光伝播局、許宜容

台北は全台湾でパン屋さんが最も密集している地域です。昔懐かしい台湾風味のパンから今流行の欧風パンまで、それぞれ味の余韻を楽しませてくれる思い出や物語があり、噛めば台北ならではの幸せなおいしさが口に広がります。



台湾風味の パンは思い出の味

子どもの頃、路地口にあったあのパン屋さん。通り過ぎる時いつも濃厚な香りに引きつけられて、お母さんに買って帰ろうよと大きな声で言ったものです。あの忘れられない昔懐かしい味は、味覚だけで感じるものではありません。幼い頃のさまざまな思い出を味わうものでもあり、まさにこれこそ昔ながらの台湾風パンの人气が衰えない理由なのです。

ベーカリー業界団体、台北市糕餅商業同業公会の呉官徳理事長

によれば、台湾風パンはすでに7、80年の歴史があり、メロンパン、あんパン、ねぎパン、肉鬆（肉でんぶ）パンの4つが台湾風パンの「四天王」だといいます。呉理事長のお気に入り子どもの頃の記憶がよみがえるメロンパンだそうです。どんなに時代が移り変わっても、昔ながらのパン屋さんではメロンパンの売上がいつも一番です。

台湾風パンの人気の理由は柔らかな口当たり、そして多彩な形と味にあると呉理事長は分析します。しょっぱいパンも甘いパン

も何でも選べて、中にはたっぷり具やあんが詰まっています。ひとつのパンでさまざまな食感が楽しめるのです。

「台湾風パンは台湾のパン職人にとって必修科目といえます」呉理事長はパンの美味しさを左右する最大のポイントはいい材料を惜しみなく使うことと新鮮さで、後は職人の腕によって差が出ると考えています。今年3月、糕餅公会と台北市観光伝播局は「台北パン学コンテスト」を共同開催しました。参加者は新しいアイデアで実力を発揮し、これまでとは

異なる台湾風パンでみなを楽しませてくれました。

昔ながらの味、華麗に変身

初めて開催された「台北パン学コンテスト」の「懐かしの台湾風パン」部門では「Semeur（聖娜）」の陳建文さんが優勝しました。パン作りの世界に入って15年の陳さんは、パン生地をこねる作業をし過ぎたために腕を痛めてしまったことがあります。医者から人工軟骨を入れなければならないと警告されていましたが、わずか1カ月の休みを取っただけで再び仕事に戻ったそうです。

今回受賞した「火山肉鬆」は、奥さんと日本へ遊びに行った時に見た富士山にヒントを得た作品です。昔ながらの肉鬆麵包のような長い形ではなく、中にも外にもたっぷりと肉でんぶが使われていて、まるで火山が爆発しているような勢いがあります。また「膨然心動」という名前が付けられたメロンパンは陳さんが何度も試作を繰り返した後、イチゴの名産地、大湖産のドライストロベリーのかすかな酸味とメロンパンがよく合うことに注目して生まれた作品です。形はエクレアのように、砂糖で作られた型抜きの花が飾られており、幸せな雰囲気にあふれています。

2

コンテストで2位となった「チャーリー・ブラウン」の黄宣銘さんは、同店の蔡先生と楊先生の指導と、パン作りを学び始めて3年あまりでコンテストに参加するチャンスを与えてもらったことに感謝を述べました。黄さんはお母さんがかぼちゃが大好きだということで「かぼちゃメロンパン」を作り、審査員から好評を得ました。開発にあたって、最初にかぼちゃをパン生地に練り混ぜたり表面の皮の部分に入れてみたりしましたが、どれも食感が硬くなってしまいました。そこでかぼちゃを1日つけておいて柔らかくしてから、パンの表面に開いた花びらのように置きました。こうして美味しく見た目も美しいパンが出来上がったのです。

「魚鬆饅子」の作り方も斬新です。黄さんはパン生地に特にこだわりがあり、肉鬆の代わりによりさくさくした歯触りの魚鬆（魚の



1. 台湾風味のパンは多くの人にとって子どもの頃の思い出です。(写真/許宜容)
2. 「火山肉鬆」は、奥さんと日本へ遊びに行った時に見た富士山にヒントを得た作品です。(写真/許宜容)

でんぶ) を使い、パンの中にごく少量の油條（揚げパン）を入れて食感を豊かにしました。また「梅蘭竹菊」（古来から詩や絵画の題材として好まれる4つの植物）のコンセプトを取り入れたサンドイッチも人々を驚かせました。豚の肩ロース、ブルーベリージャム、サラダ用のタケノコ、ポテトグラタン、そして野菜と果物という新しい組み合わせが受賞のポイントとなりました。

ずっしりと 香り高い欧風パン

台湾では最初、台湾風と日本風のパンが主流で、現在も台湾風パンが多くを占めています。しかし呉宝春さんがパンの世界大会



「クーブ・デュ・モンド・ド・ラ・ブーランジュリー」で優勝してからは、欧風パンの人气が高まってきました。

台湾の欧風パンは純欧風、健康志向タイプ、ソフトタイプの3つに分類できます。呉理事長は西洋人にとってパンは主食であり、私たちにとっての白米と同じで料理やスープと一緒に食べるものなので、料理の風味を楽しむために余計な味を持たせる必要がないと言います。

そのため伝統的な欧風パンはしっかりと硬くて具やあんは入っておらず、入っていてもナッツやドライフルーツが少しだけで、あれこれと装飾が施されたものは少ないのです。健康志向の欧風パンはさらにシンプルで、油

と砂糖をほとんど使っていません。しかし台湾人はパンをそのまま食べることが多いので、それに合わせてソフトタイプの欧風パンも生まれました。食感は柔らかく味も多彩です。

作り方も、台湾風と欧風では全く異なります。呉理事長によれば、台湾風パンは砂糖と油を入れてパン生地を柔らかくしますが、欧風パンはドライイースト、塩、小麦粉で作られます。フランスパンを食べる時に大事なのは麦の香りを楽しむことですが、その一方で、台湾風パンが追求しているのはさまざまな具やあん、それにパン生地から生み出された味わいなのです。

現在、最も人気が高い欧風パンはフランスパンです。外はカリッとして中は柔らかく、バターやオ

リーブオイルをつけて食べます。次に人気なのは全粒粉パン、ロールパンなどです。しかし本場の欧風パンはそのまま食べると変化に乏しいので、台湾のパン職人によって改良されて呑み込みやすかつ本来の特色を失わない商品が登場しています。

東西の融合で新しい味を

「台北パン学コンテスト」の「流行の欧風パン」部門では「セントポール（聖保羅烘焙花園）」の邱俊一さんが優勝しました。中学校卒業後すぐにパン屋さんでパン作りを学び始め、すでに20年以上のキャリアのある邱さんですが、コンテストの前には万全の準備に努めました。休みを利用して設備メーカーへ赴き、コンテストと同じ設備が揃った作業スペースを借りて約10回の「模擬テス

ト」を行ったそうです。こうして指定時間内に作品を完成させることができるようになりました。

邱さんの受賞作品は、台湾生まれの材料をふんだんに使用しています。「橙香乳酪可頌」はチーズの中に新鮮な蜜漬けオレンジを加えて、魅力的な香りと素晴らしい風味を生み出しています。「乳酪麵包」はドライローゼルと2種類のチーズを組み合わせ、しょっぱさと甘さが爽やかに広がります。「果乾雜糧麵包」は台湾産のドライピーチと米国産の干しブドウのハーモニーが、パン生地にフルーティーな香りを添えています。

2位を獲得したのは「東京時尚烘焙坊」の洪聡賢さんです。高校を一年生で中退した後、熱心にパン作りを学んで21歳で店を開きました。今回親友たちの薦めでコンテストに参加した彼は、前回の「City Bread Championship（都市対抗パン作りカップ）」の台湾代表に指導を仰いだり、大先輩のパン職人たちに電話でアドバイスをもらったりしました。洪さんはコンテストの指定項目のひとつであった「クロワッサン」が最も難しい欧風パンだったと言います。さくさくとしたおいしいクロワッサンを作るためには、油の可塑性と適切な温度調整に注意しなければな

らず、さらに製作時にはパン生地を冷たくしてから取り出すか、冷房のついた部屋で作業をしなければなりません。試作過程で1,000個以上失敗し、コンテスト当日になってついに完璧な作品を作り出すことができました。

「聖女貞徳」というチーズパンはマルゲリータピザからヒントを得ました。自作のオイル漬けた新鮮なトマトと台湾バジルをスモークチーズに添えて味を引き立て、飽きのこない豊かな食感を作り出しています。「沁心」はドライフルーツを使った雑穀パンで、一般的によく使われるバラの葉やジャスミンの葉などは使わず、ミントの葉を使っています。これに大湖産の

ドライストロベリーが思いのほかマッチして涼しげな風味を生み出しています。すでに15年の経験がある洪さんですが、今も時間があれば台中から新幹線で北部へやってきてパン作りの勉強を続けています。2018年の「都市対抗パン作りカップ」の優勝カップを台湾に留めることが彼の目標なのです。①

3. 「流行の欧風パン」部門では邱俊一さん(左)が優勝、洪聡賢さん(右)が2位を獲得しました。(写真/台北市観光伝播局)
4. 第1回「台北パン学コンテスト」の「懐かしの台湾風パン」部門で優勝した陳建文さん(左)と黄宜銘さん(右)。(写真/許宜容)
5. 欧風パンはドライイースト、塩、小麦粉で作られ、台湾風パンとは製造方法が異なります。(写真/許宜容)



思い出の味も縁結びも 大稲埕を楽しもう

文 _ 杜佳穎

写真 _ 台北市観光伝播局、邱如仁



1

パン作りの世界に入って20年、多くの人にどの店の洋菓子やパンが一番好きか聞かれます。その答えは私が生まれた台北の古い町、百年の歴史を持つ大稲埕から語らなくてはなりません。ここには台北最古の洋食レストラン「ボレロ（波麗路西餐廳）」があります。また創業からすでに71年を迎える「双福食品」のタマゴハムサンドは、子どもの頃からお気に入り入りの朝食です。お茶のお伴なら「加福」の「奇士蛋糕」（パイ包みスポンジケーキ）が最高です。この「福」の字を持つ2つの店によって、私は洋菓子の魅力に目覚め、デザート作りの道を決意したのです。

こだわり貫く老舗店

30年以上前、チェーンの朝食店がまだ流行り出していなかった頃です。私は幸運にも民生西路にある双福食品のサンドイッチを毎日食べることができました。焼きたてトーストに作りたてのマヨネーズを塗り、黄金色に焼かれた卵焼きとハムを挟んだものです。ひとつ8元が今は16元となりましたが、質を保つため30年間同じ人たちによって作られています。

外から見えるようになっていく厨房の中では、あのお姉さんが白髪のおばさんになって今も変わらず毎日手作りで作られた

てを貫いています。ひと口食べるごとにマヨネーズの滑らかさと卵焼きの香ばしさが広がり、普通の朝食屋さんのサンドイッチと違って全く油っこくありません。今でも私は朝ごはんならまずこのサンドイッチを選びます。一度食べ始めたら止まらなくなり、3つ食べてようやく満足します。

民生西路から迪化街へ向かう途中、延平北路を通り過ぎます。交差点に到着するとすぐ「加福奇士蛋糕専門店」から焼きたてのパイ生地の香りがしてきます。この店も30年以上続く老舗です。他の店でも同じようなケーキが売られていますが、油っこくて皮が分厚いです。しかし「加福」のケーキはパイ生地が薄く、しょっぱいバターが香りが漂います。中のスポンジ部分はしっとりとして柔らかくて、焼きたてのあつあつをほおばれば食べる人の心までとろけます。冷やして食べればひんやりしたパイ生地と冷たいスポンジの食感がさらに爽やかです。



1. 「加福」の焼きたてケーキ。(写真/台北市観光伝播局)
2. 「加福奇士蛋糕専門店」の「奇士蛋糕」(パイ包みスポンジケーキ)を食べれば、心までとろけます。(写真/邱如仁)

歴史ある町の風情を 楽しもう

この「福」の字を持つ2つの店はどちらも MRT 双連駅から行くことができます。先にサンドイッチを食べて、それから迪化街でケーキを食べてはいかがでしょうか。途中には愛する相手と家族になる願いをかなえてくれる台北霞海城隍廟があり、恋愛運と結婚運アップを祈願ができます。この廟(道教の寺)では「平安茶」という飲み物を無料で提供していま

す。これは地元の漢方薬店が売っているナツメ、クコの実、ローゼル、菊の花、梅干し、喜糖(披露宴で配られる縁起のいい飴)を煮て作ったものです。迪化街へ来たらこの廟のめでたい雰囲気味わい、良いご縁を願うのもよいでしょう。

また大稻埕周辺は台北最大の各地の食品、漢方薬、お菓子の卸売り店や、パンやクッキーなどの材料を売る店が集まる地域で、思う存分買い物ができます。あるいはおしゃれな雑貨屋さんやカフェを巡って、アートな雰囲気ひたってもよいでしょう。身体を動かしたければ大稻埕碼頭河浜公園へ行って散歩したり、夕陽

を見たり、自転車で専用車道を北へ走って社子島へ行ったり、南へ向かって万華まで行くこともできます。道中には、川べりの砂洲や草花など素晴らしい景色が広がります。またシラサギの住みかも多く、私がいつもお菓子を食べた後カロリーを消費しに行く最高の場所です。お金が全くかからないだけでなく美しい風景が楽しめますし、おやつを持ってピクニックもできます。本当に幸せを感じます。①

あの頃、君と一緒に食べたパン

文 梁幼祥

写真 李明宜、許世穎

呉宝春さんのベーカリーが台北にオープンした時、私もさっそくにぎやかに行きました。人だかりで押し合っていると目の前に若いカップルがいて、その仲の良い様子がうらやましくなりました。若いって素晴らしい。でももっとうらやましかったのは彼らがこんなに高いパンを買うことができるということでした。

この光景を見て、突然私は40年以上前のことを思い出しました。初恋の人は明るく活発でいつも笑顔で、小鳥のように軽やかに歩く女の子でした。当時、私はまだ貧しい学生で、お菓子を買ったら食事を一食がまんしなければなりません。私はいつも彼女の手を引いてツツジが咲きほころぶ台湾大学のキャンパスを散歩したり、重慶南路の書店を見て歩いたりしました。あの物がなく貧しかった時代、恋人たちは「ぶらつく」ことしかできなかったのです。

彼女のおこづかいは私よりも



多かったので、いつも私に会いに来るとまず台湾大学の向かいにある「得記」でたくさんパンを買って私の勉強に付き合ってくれました。食べきれなかったパンは私の翌日の朝ごはんになります。彼女はいつも違う味のパンを買って来てくれました。小豆あん、クリーム、肉鬆（肉でんぶ）、焼きまんじゅうなど、いつも目新しい味を探していました。

彼女が見つけた 意外なパンの楽しみ方

ある時、彼女は部屋に入ってくると私に唐辛子ソースを出すように言いました。私は訳が分からず心の中で「まさかパンにつける

んじゃない？」といぶかしくしました。彼女はすぐさまパンをちぎると唐辛子ソースをたっぷりつけて私の口の中に押し込みました。私は大きな声で「何するんだよ、パンにこんなものをつけて食べさせるなんて！」と叫びましたが、彼女は目を細めていたずらっぽくこう言いました。「何か悪いことした？」逆らえない私はただ口をあぐり開けることしかできませんでしたが、彼女は私をじっと見て私の反応を待っていました。何てことだ！噛んでみると柔らかな食感と、ねぎ油の香りと辛味が口の中に広がり、私の味覚は彼女のかわいらしい顔と同じような魅力を感じたのでした。



1. 吳宝春のベーカリーは新しい味を求める多くの人々にいつも大人気です。(写真/李明宜)
2. 台北人はいつも目新しいパンに対して高い期待を抱いています。(写真/許世穎)

ある時、私たちは新公園（現在の二二八和平公園）で待ち合わせをしました。私は「公園号」の酸梅湯（梅ジュース）を2袋買って彼女を待ちました。彼女はいつも1時間遅れて来ます。でもその煩わしさといらいらは、彼女が遠くから飛び跳ねながらやってくる小さな姿を見るときれいになくなってしまいます。彼女は「明星麵包廠（アストリア）」の紙袋を下げていて、私の酸梅湯を見ると「わあ！酸梅湯にロシアパン、ソフトキャンディーもあるわ！」と大きな声で叫びました。あの時はじめて、私はパンの食感というのはあんパンのようにどれも柔らかいのではないと知りました。

激しい移り変わり 新しいパンが競い合う台北

兵役を終えると、私は永康街に住みました。通りの角に「サンメリー（聖瑪莉）」という日本風のパン屋さんができて、いつもお客さんでいっぱいでした。その時、台北人の目新しいパンに対する期待がこんなにも高いのだということに気づきました。その店でパンを買うたび、かわいかったけれど兵役に行った私の帰りを待つことのなかったあの小さな恋人をいつも思い出したものでした。

それから、経済の発展に伴って台北のパン屋さんは増えていきました。導入する技術や味も日進

月歩の進化を見せており、台北は「食の天国」というよりむしろ「食の競技場」と言えるのではないのでしょうか。なぜならパンの作り方や食べ方だけでも、こんなに多様な都市は世界を見ても他にないと思うからです。

吳宝春さんのベーカリーに並ぶ行列はどんどん長くなり、ついに私の前の恋人たちの順番になりました。レジで恋人に「ねえ、何かジャムを買わない？」と言う女の子を見て、私は彼女にこう言いたくなりました。「唐辛子ソースを試してごらん」と。📍

パンの新時代がやってきた

文 _ 劉克襄

写真 _ 火頭工

10年以上前、百年を超える長い歴史を持つ木柵市場の入口に欧風のパン屋さんが現れてみなを驚かせました。それまでも昔ながらの市場を歩けばパンを売る店はしばしば見かけられ、木の棚にねぎパン、あんパン、メロンパンなどよく見る台湾風パンが並べられていたものです。しかし手作りや長時間発酵という初志を掲げて、ヘルシーな材料を使っていることをアピールする店は、これまで見たことがありませんでした。

一度食べると、私たち一家はすっかり「阿段烘焙」の常連客となりました。家から木柵市場までは少し遠かったのですが、このパン屋さんがあったのでわざわざせっせと市場へ足を運びました。猫空へハイキングに行く時には、ここでお昼ご飯を買ってからバスに乗ったものです。その後、台北の伝統的な市場を案内することが何度かありましたが、私はとりわけここを選びました。この市



場が自分で野菜や果物を育てている小規模農家が特別多いからというだけでなく、このパン屋さんがパンの新時代の到来を教えしてくれるからです。

人生でパンの哲学を こね上げる「火頭工」

「阿段烘焙」は5、6年ほど前に移転しましたが、今でも市場からほど近いところにあります。この町では、パン屋さんの意義がより豊かになりつつあります。このお店が研究開発を続けるのに伴い、お客さんも増えており、欧風雑穀

パンの素朴な味がだんだんと受け入れられるようになっていきます。「阿段烘焙」はいつの間にかこの町になくってはならない存在となりました。食の安全に関する知識を交換する場でもあり、多くの人々が長期にわたって応援してつづ、お店のこだわりの理念に賛同しています。

「火頭工」というあだ名のパン職人さんは、間違いなくこの店のリーダーです。50歳を過ぎてからパン作りの道へ進んだ彼は、社会のさまざまな困難を経験して



1. ふんだんにチーズを使った濃厚なチーズケーキ。
2. 「火頭工」さんは町のパン屋さんのあるべき姿を体現しています。

きました。だからこそパンをめぐるくらしの哲学をよりたくさんこね上げることができるのです。彼のように理系の高学歴というバックグラウンドを持ち、詩と芸術を愛し、さらにはさまざまな楽器を奏でて心の糧としているパン職人は少ないでしょう。彼がパンの陳列棚の前に立ち、雲南の楽器であるひょうたん笛（フルス）で厳かに奏でる音楽は聴く人を感動させます。これはパンに対する敬意を表すもうひとつの形なのです。焼きあがったパンはまるでこの音楽を聞いているから完璧な仕上がりになっているかのようです。

小さなパン屋から 農業に革命を

近年、台湾のパン職人が世界的なコンテストで賞を獲得し続けています。台北はパン屋さんが増え、次々とできて「パンの街」となりました。私たちの技術が一流の水準に達した今、次の課題はさらに高い次元で文化としてのパンを論じ、台湾のパンが内に秘める価値を高めることです。

「火頭工」さんは台湾の食材を使った製造方法を試し、長年の模索を経て一筋の道を見出しました。現在、店内のパンは新鮮な台湾産の小麦粉を大量に使用

し好評を博しています。もしより多くのパン屋さんがこれにならって努力をすれば農家が雑穀の栽培面積を広げるのを後押しし、台湾の農業に新たな革命を起こすこととなります。彼はこの夢の青写真だけではなく、店内にワークスペースを設けてパン作りに興味のある若者を招き、技術を磨く場として提供しています。将来、彼らは各地で開業して共に理念をアピールしていくことでしょう。

一軒の小さなパン屋さんが、新鮮なパンを提供するだけでなく将来を見すえた食材に関する信念も持っていることを本当にうれしく思います。将来、どの町にもこのようなパン屋さんができて、自分のスタイルを創造し、パン作りの美学と信念が花開くことを期待しています。📍

写真家・蜷川実花

新しさと伝統の間に潜む台北の美

文 — 翁健偉

写真 — 顔涵正



華麗で絢爛、独特な美的感覚を備えた作風で知られる日本の写真家、蜷川実花さんがこのたび、台北当代芸術館（MOCA Taipei）にて回顧展を開催しました。蜷川さんはこれまでの創作活動を振り返るとともに、自身の目に映る台北の印象について語ってくれました。

「桜の花はこの上なく美しいけれど、すぐに散ってしまうのが惜しい」と多くの人は言います。しかし花を愛する蜷川さんは、つかの間に精一杯咲き誇るさまこそがすばらしいと考えます。「実花」という名前は、彼女の母が「実も花もある人生を」と願いを込め付けたそうです。蜷川さんの作品にはいつも、さまざまな被写体が放つあふれんばかりの生命力がふんだんに表現されます。わずかな間しか咲くことのできない花々の刹那の美しさを、彼女は永遠に留めることができるのです。

写真家として震災に向き合う

予想以上に早くフィルムが世の中から消えてしまったことには心を痛めたと言います。もちろん、デジタルカメラについても、思いのままいつでも撮影でき、カラーで

撮った写真をモノクロに変換するなど、フィルムではできない加工ができることで、独特の美的感覚を思う存分に花開かせることができるとその利点を挙げています。

これまで立ち止まることなく創作活動を続けてきた蜷川さんですが、そんな彼女にもシャッターを切るべきかどうかためらったことがあるそうです。それはあの東日本大震災が起き、日本中が震災による悲しみに沈んでいた時のことでした。

震災直後、ちょうど桜の満開になるころ、彼女は「一人の写真家として人のために何ができるだろう」と考えました。そして、当時、誰もが花を見るような気持ちになれないような中、後でみんなが「あの時の桜はどうだったんだろう」と思い起こした時に「こんなにも輝くような美しさだったんだよ」と見せられるよう、その年の満開の桜を写真に収めておこうと決めたと言います。そこで、日本の社会が悲しみを乗り越えられますようにと、1週間の間に桜の写



蜷川実花展は、さまざまなメディアの境界を越えた刺激的なコラボレーションなど、アーティストとして20年近くの創作の足跡をたどる集大成。



華麗で絢爛な作風に蛭川さん独自の美的感覚が表れます。

真2,500枚を撮影しました。これが一つの魂の癒しであることは間違いありません。

台北の活気と情熱が大好き

ここ数年、蛭川さんは頻繁にアジア各国へ出かけ、異分野間の交流を深めています。台北にも20～30回も足を運んでいるそうで、さらに今年、彼女は海外での大規模

な個展の最初の開催地として台北当代美術館を選びました。台北をアジアの各都市へと足を延ばす出発点と考えているのです。

蛭川さんは7年前に初めて当代美術館を訪れた際、ここで個展を開きたいと感じたそうで、「今回、夢がかなった」と喜びを語ります。また彼女にとってこれほど大規模

な個展は初めての経験だったため、当初はうれしさと同時に大きな挑戦だと感じたといいます。なお今回の個展では大量の作品展示に加え、来場者がその人なりの方法で個展と一体化できるような「自撮り」できるスペースが設けられました。

蝮川さんは、女性シンガーの蔡依林（ジョリン・ツァイ）、ロックバンド・五月天（メイデー）の阿信、アイドルグループ・S.H.Eといった台湾のアーティストの相次ぐ撮影を通じ、台湾人に対して「親しみやすく話しやすい」という印象を抱いているそうです。また、たびたび訪れている台北の魅力についても「人情味にあふれているところ」と答え、「台北の人はとっても真面目で情熱的、みなぎるパワーを感じさせる」と語ります。

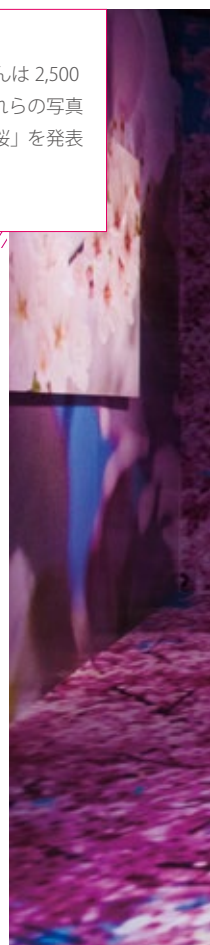
さらに蝮川さんは「台北の美しさは新しいものや考え方を伝統に取り込むことにある」と指摘しました。「伝統の中に新たなアイデアを加えることで台北独

特の活気が生まれている」—そこが最も人を惹きつけると分析します。

すっかり台北好きとなった蝮川さんは今年、台北市の撮影を計画しており、これを通じて台日間の観光や交流の活性化につなげたいと考えています。「まずは台北にゆかりのある、つつじのような花を撮影しようと思っています」と語る蝮川さんは、人々に驚きに満ちた喜びをと考えハイライトを練っています。

仕事以外にも彼女には自分なりの台北の楽しみ方があります。2月に台北を訪れた際には美容院に行って台湾式の洗髪を体験したそうです。彼女はその時のことを「頭いっぱいシャンプーを付けて上に引っ張って髪の毛を高く持ち上げるんですよ」と楽しそうに話します。また台北の食べのものが好きだという蝮川さんは、色んな夜市を巡り、まるで地元台北の人のように食べ歩きを満喫するそうです。

東日本大震災後、蝮川さんは2,500枚の桜の写真を撮影。それらの写真だけで構成した写真集「桜」を発表しました。



名作を網羅した個展

今回の回顧展、「蝮川実花展」では、美しい花、金魚、ポートレートから自身で撮りためたセルフポートレートまで、さまざまなテーマで作品を展示し、異なる角度からこれまでの彼女の仕事ぶりを振り返りました。

「Flowers」—チョウなどの小さな虫が花に止まり、両者の境界線が曖昧となるような瞬間が好



きだと蛭川さんは言います。また花びらが風に吹かれ、普段とは違った姿を見せる様子にも引きつけられるそうです。

「Liquid Dreams」一人間が観賞するため人工的に生み出され、飼育される金魚に人は美しさや幸福感を感じるものの、蛭川さん自身は、金魚の持つ美しさから形あるものの価値や人間として最も切実な面に思いを馳せます。

「桜」一桜の美しさを存分に捉え、大きく引き伸ばした作品が壁4面、床を覆い尽くすよう展示されました。これは2011年に発生した東日本大震災後、その年の満開の桜を記録することで人々に自然の力を再認識させ、災害によってその生命力が尽きることはないことを伝えようと撮影されたものです。

「Portraits」一日本のスターか

らアジアのアーティストまで、多くの著名人が蛭川さんによってカメラに収められ、彼女の最も得意とする華麗で美しい作品に仕上げられました。その作風は賞賛されることもあれば、一部の人から繰り返し重ねて表現する美について「重過ぎるのでは」との疑問を向けられることもあります。このことについて蛭川さんは「日本の芸術は一般的に簡素な芸術との印象を持た

れますが、日本には簡素なものだけではなく、豊かな色彩を重ねる『琳派』（編注：表現手法にこだわる日本の造形芸術の流派）のような作品も存在するのです」と指摘し、自分の作風は突然降って湧いたものではなく、ちゃんと由来があるものだと説明します。

「Self-image」—その他のシリーズ作品とは異なり、真っ暗な部屋の中にモノクロのセルフポートレート作品が展示されました。蜷川さんは映画監督など、大勢の人々とかかわる仕事の合間

を縫って、カメラ一台と自分一人だけで、自分の姿を撮影することで外の世界の喧騒から離れ、心の中の静寂に立ち返りたいと考えます。このシリーズはもともと個人的な記録用にと撮影したもので、外部に発表するつもりはなかったそうです。芸術家の自分自身に対する独白といった印象が強く感じられます。

「TAKE OVER THE WORLD」—蜷川さんがこれまでに手がけた写真集、雑誌のカバー、アーティストの写真、監督を手がけ

たミュージックビデオ、および様々な分野でのコラボレーションにより生み出された商品が展示されました。蜷川さんは「もし作品がギャラリーに展示されるだけなら見てくれる人は少ないけれど、200円のペンをデザインすればもっと多くの人に自分の作品を見てもらうことができる。これは作品が人々に触れるための一つの手段なのです」と語ります。①

- ✿ 日本で最も権威のある写真賞「木村伊兵衛写真賞」受賞。
- ✿ 個展（巡回展）「蜷川実花展—地上の花、天上の色—」は多くの美術館の入場者記録を更新。
- ✿ 現在は現代アーティストとして小山登美夫ギャラリーに所属。
- ✿ その作品はファッション界にも影響を及ぼし、これまでエトロ（ETRO）、セリーヌ（CELINE）、マスターマインド・ジャパン（mastermind JAPAN）といったブランドとのコラボ商品を数量限定で販売している。
- ✿ 2007年公開の『さくらん』で長編映画初監督を務める。
- ✿ 映画監督として2作目となる『ヘルタースケルター』（2012年公開）は興行成績22億円を突破。
- ✿ 2020年東京オリンピック・パラリンピック組織委員会理事に就任。

公式ウェブサイト：www.ninamika.com

©mika ninagawa, Courtesy of Tomio Koyama Gallery

蜷川実花
写真家
映画監督



旅のお役立ち情報

桃園国際空港から台北市までのアクセス

台北市と桃園国際空港の行き来には、安くて便利な空港バス、安全で速いタクシー、専門的で質の高い送迎サービスがあります。いずれも所要時間と料金が異なりますので、必要に応じてお選びください。

タクシー

乗り場：

第一ターミナルの到着ロビーの北側、第二ターミナルの到着ロビーの南側

片道料金：

メーターの料金×0.15 + 高速道路料金。

台北市内まで約 NT\$1,100 元

第一ターミナルタクシーサービスセンター

電話：(03)398-2832

第二ターミナルタクシーサービスセンター

電話：(03)398-3599

空港バス

乗り場：

第一ターミナル一階の到着ロビーの南西側、第二ターミナル一階の到着ロビーの北東側

運行会社：

国光客運、長榮巴士、建明客運、大有巴士の4社

片道運賃：NT\$85 元～ NT\$145 元

所要時間：

路線によって約 40 分～ 60 分 (大有バスは停車バス停が多いため約 60 分～ 90 分)

運行間隔：

約 15 分～ 20 分間隔

台北 MRT

営業時間：06:00 ～ 24:00

24 時間お客様専用ダイヤル：(02)218-12345

種類	料金
 IC トークン (片道切符)	NT\$20 元～ NT\$65 元
 悠遊カード (EasyCard)	初回購入時は NT\$500 元。NT\$400 元分が使用可能で (NT\$100 元はデポジット)、毎回利用時に料金が差し引かれます。コンビニまたは特約店でチャージ可。
 一卡通 イーカートン (iPASS)	MRT 各駅のインフォメーションカウンターなどで販売している買取式 (デポジットと使用可能金額を含まない) のプリペイドカード。 <ul style="list-style-type: none"> 対象：誰でも使用可能。 価格：NT\$100 元 / 枚 (チャージ金額を含まない)。 購入場所：リアル店舗、ショッピングサイトおよび MRT 各駅。 MRT 乗車料金が 1 回ごとに 2 割引きになります。 乗換割引：1 時間以内にバスと MRT 間の乗換をした場合、1 回につき NT\$8 元お得になります。
 MRT 1 デイパス	NT\$150 元
 台北観光バス (Taipei Pass)	バス或いは MRT の改札機で使用し始めてから、有効使用期間内に何度でも台北 MRT、台北市及び新北市のバスに乗車できるパスポート (Taipei Pass マークのあるバス) です。MRT の各駅で販売しています。 1 デイパス：NT\$180 元 2 デイパス：NT\$310 元 3 デイパス：NT\$440 元 5 デイパス：NT\$700 元 1 デイパス (猫空ゴンドラ版)：NT\$350 元
 台北 MRT フリーパス (Taipei Metro Pass)	24 時間バス：NT\$180 元 48 時間バス：NT\$280 元 72 時間バス：NT\$380 元

お知らせ

市のサービスを便利にご利用いただけるよう、台北市では 1999 市民ホットラインを実施しています。市内電話、携帯電話、インターネット電話 (公衆電話は除く) からフリーダイヤル「1999 台北市民ホットライン」をご利用ください。「1999 台北市民ホットライン」は、担当者への電話転送後の通話時間を最長 10 分としています。限りある資源を大切に、通話の際は要点を簡潔にお話下さい。詳細については 1999 にダイヤルするか台北市研考会のサイト (www.rdectaipei.gov.tw) でご確認ください。



緊急連絡先一覧表

警察 / 110

犯罪、交通事故、そのほか警察の協力が必要な場合に利用

消防 / 119

火災、死傷事故、そのほか緊急救助が必要な場合に利用

婦女児童保護専用ダイヤル / 113 内線 1

家庭内暴力または性的暴力の被害者のための 24 時間緊急支援、法律相談、カウンセリングサービス
もし 110 または 119 に電話して言葉で困った場合は、24 時間サービスホットライン 0800-024-111 に電話してサポートを依頼することも可能です。

生活に役立つ連絡先

機関	電話番号	台北市観光案内所
台北市民ホットライン	1999 (台北市外からは 02-2720-8889)	台北駅トラベルサービスセンター (02)2312-3256 台北市北平西路 3 号 1 階
英語による電話番号案内	106	
国際電話ダイレクトコール カスタマーサービス専用ダイヤル	0800-080-100 内線 9	松山空港トラベルサービスセンター (02)2546-4741 台北市敦化北路 340 之 10 号
時報	117	
天気予報	166	MRT 西門駅トラベルサービスセンター (02)2375-3096 台北市寶慶路 32-1 号地下 1 階
道路状況	168	
交通部観光局 トラベル相談ホットライン	0800-011-765 (フリーダイヤル)	MRT 劍潭駅トラベルサービスセンター (02)2883-0313 台北市中山北路 5 段 65 号
交通部観光局 トラベル苦情専用ダイヤル	0800-211-734 (フリーダイヤル)	MRT 北投駅トラベルサービスセンター (02)2894-6923 台北市光明路 1 号
外国人台湾生活相談ホットライン	0800-024-111	MRT 台北 101/ 世貿駅トラベルサービスセンター (02)2758-6593 台北市信義路 5 段 20 号地下 1 階
観光局台湾桃園国際空港 トラベルサービスセンター	第一ターミナル (03)398-2194 第二ターミナル (03)398-3341	梅庭トラベルサービスセンター (02)2897-2647 台北市中山路 6 号
国際貿易局	(02)2351-0271	ミラマー・エンターテインメント・パーク トラベルサービスセンター (02)8501-2762 台北市敬業三路 20 号
外貿協会 (TAITRA)	(02)2725-5200	ゴンドラ猫空駅トラベルサービスセンター (02)2937-8563 台北市指南路 3 段 38 巷 35 号
台湾観光協会	(02)2594-3261	大稲埕ビジターセンター (02)2559-6802 台北市迪化街 1 段 44 号
台北市日本工商会	(02)2522-2163	
外交部	(02)2348-2999	
外交部市民サービス専用ダイヤル	(02)2380-5678	
警察ラジオ局	(02)2388-8099	
タクシー呼出サービス 英語専用ダイヤル	0800-055-850 内線 2	
消費者サービス専用ダイヤル	1950	
中央健康保険局相談専用ダイヤル	0800-030-598	
エイズ相談専用ダイヤル	0800-888-995	

以上出典：

外国人在台生活服務 (Information For Foreigners) / 電話：0800-024-111

中華民國交通部観光局 / 電話：(02)2349-1500

※ 下地が茶色の部分は英語ダイヤル

今年は台北でひとあじ違うリバーサイドの夏！ 楽しさいっぱいのイベントがもりだくさん！

イベント	場所	イベント内容	主催機関
▶▶ 6月 水岸台北 2016 端午カーニバル	大佳河浜公園、 大直橋たもと	卵立チャレンジ、ちまき包み大会、ドラゴンボート大会	体育局
台北小旅行 夕暮れ橋めぐりサイクリング	大佳河浜公園ー錫口ふとう	「YouBike」に乗って川岸の自然と橋のある景観を楽しむ（専門ガイド随行）	観光伝播局
▶▶ 7月 思いっきり夏の水遊び	大直橋たもと	カヌー、スタンドアップパドルボード等の体験	体育局
ちびっこ海賊体験キャンプ	大稻埕ふとう	子供と一緒に関門攻略ゲームや海賊旗掲揚ゲームを楽しむ	公共運輸処
海賊ゲーム 密室からの脱出	関渡ふとう グレートリバー・クイーン号	台湾初、大型豪華フェリーを利用した海賊脱出ゲーム	公共運輸処
台北河岸音楽フェスティバル (複数イベント)	大稻埕ふとうなど (その他開催地点は追って発表)	コンサート、アイデアグッズ・軽食バザー、ご当地文化活動	観光伝播局
▶▶ 8月 ファミリー・親子フェスティバル	大佳河浜公園	川岸での水遊び	観光伝播局
思いっきり夏の水遊び	大直橋たもと	カヌー、スタンドアップパドルボード等の体験	体育局
ちびっこ海賊体験キャンプ	大稻埕ふとう	子供と一緒に関門攻略ゲームや海賊旗掲揚ゲームを楽しむ	公共運輸処
海賊ゲーム 密室からの脱出	関渡ふとう グレートリバー・クイーン号	台湾初、大型豪華フェリーを利用した海賊脱出ゲーム	公共運輸処
台北河岸音楽フェスティバル (複数イベント)	大稻埕ふとうなど (その他開催地点は追って発表)	コンサート、アイデアグッズ・軽食バザー、ご当地文化活動	観光伝播局
▶▶ 9月 思いっきり夏の水遊び	大直橋たもと	カヌー、スタンドアップパドルボード等の体験	体育局

2016
台北河岸
音楽季

Summer × Fun
Taipei Riverside



詳しい情報は台北市観光伝播局の台北観光サイトをご覧ください。

情報を先取り！台北市政府のLINE公式アカウントと友だちになろう！

広告

蜷川實花

Mika
Ninagawa

Taipei City

台北市